

Part 1 基本情報

1. ニジェールプロフィール

- (1)正式名称 (和文)ニジェール共和国
(英文) Republic of Niger
- (2)政体 共和制
- (3)首都 ニアメ
- (4)面積 126万7000平方km
- (5)人口 1,370万人(2006年世銀)
- (6)民族 ハウサ族、ザルマ族、ソンガイ族、トゥアレグ族など
- (7)言語 公用語: フランス語 そのほかハウサ語など各部族語
- (8)宗教 イスラム教(75%)、ほかキリスト教、伝統宗教
- (9)略史 7～12世紀、ソンガイ王国、ボルヌー王国、ハウサ諸王国などによる抗争時代。17～19世紀トゥアレグ族が勃興。1830年フランス人がチャド湖に基点を設ける。1922年フランスの植民地となる。1960年独立。
- (10)在留日本人 112人(2008年6月)
- (11)気候 6～9月が雨季、11～2月が乾季となる。3月から10月までは気温が非常に高く、湿度も低く乾燥している。特に4月、5月が最も暑く、日中摂氏50度を越えることもある。12月～2月は比較的涼しく日没後は20度を下回ることもある。

【参考】「外務省ホームページ-各国・地域情勢-」外務省

『最新世界各国要覧 10版(版2000)』東京書籍

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要

- 【ニジェール事務所】 住所 : N 0521, Rue des Lacs, PL521, Quartier Plateau, Commune1, Niamey, Niger
郵便物宛先 : 私書箱 B.P.10036, Niamey, Niger
連絡先 : 国番号 : 227
電話 : +227-20-73-55-69, 20-73-29-94
FAX : +227-20-73-29-85
URL : <http://www.jica.go.jp/niger/index.html>
E-mail : ni_oso_rep@jica.go.jp
執務時間 : 8:00～16:30(昼休み12:00～13:30)
休日 : 土、日曜日および下記の祝日(2008年)
1月 1～3日 年始休暇
1月10日* イスラム暦元旦
2月11日 建国記念日
3月19日* モハメッド聖誕祭

3月24日	復活祭(イースター)
4月24日	和平調印記念日
5月 1日	メーデー
5月 5日	こどもの日
7月21日	海の日
8月 4日	独立記念日
9月30日*	ラマダン明け祭日
10月13日	体育の日
11月 3日	文化の日
12月18日	共和国宣言記念日
12月25日	クリスマス休暇
12月31日	年末休暇

*:イスラム教祭日により変更の可能性有り。直前に確定する。

事務所までの交通 :

【空港から】

空港からはタクシーを利用する。「アンシアン・プラトー (Ancien Plateau)」地区にある「ベナン大使館 (Ambassade de Benin)」方面へ行くよう伝える。早朝・夜間の区別なく、ニアメ中心街まで、1台3000 CFAフラン(フランセーファー)から6000 CFAフラン程度。

ホテルのシャトルバスもあるが、不定期で予約が必要。

【空港以外から】

タクシーの利用以外に手段はない。一般的にホテルなどで客待ちをしているタクシーはほとんどないため、通りまで出て、流しのタクシーを拾うことになる。相乗りタクシーであるため不特定の客が頻繁に乗降車する。スリなどの犯罪のリスクが高いため、十分注意すること。料金は、おおむね200～400CFAフラン程度である。

(2) JICA事務所周辺地図



- (3) 日本との時差 日本との時差 :-8時間
サマータイム サマータイム :実施していない。
- (4) 祝日、官公庁の休日 祝日(2008年):
 1月10日* イスラム暦元旦
 3月19日* モハメッド聖誕祭
 3月24日 復活祭(イースター)
 4月24日 和平調印記念日
 5月 1日 メーデー
 8月 4日 独立記念日
 9月30日* ラマダン明け祭日
 12月18日 共和国宣言記念日
 12月25日 クリスマス休暇
 12月31日 年末休暇
 * :イスラム教祭日により変更の可能性有り。直前に確定する。
 官公庁の休日 :上記祝日と土、日曜日。祝日が日曜日にあたる場合は翌日の月曜日が振替休日となるが、祝日が土曜日にあたる場合の振替休日はない。
- (5) ビジネスアワー 官庁 : 7:30~12:30 昼休みをはさみ13:30~16:30(月~木)
 7:30~13:00 (金) 午後は休み
 銀行 : 7:45~12:30 14:15~16:00(月~金)、 9:00~12:00(土)
 商店 : 9:00~18:00(日曜日と祝日の午後はほとんどの店が休業)
- (6) 言語 業務 :業務:フランス語が通用する。英語はほとんど通じない。
 ホテル、買い物、食事 :ホテル、スーパーマーケット、レストランではフランス語が通用する。
 市場、一般商店などではザルマ語、ハウサ語が一般的に使われているが、買い物に必要な最低限のフランス語も通じる。
- (7) 通貨 通貨 :フランセーファー(CFAフラン、FCFA) (1ユーロ=655.957CFAフラン)
- (8) 通貨レート 為替レート :1米ドル=約427CFAフラン(2008年6月現在)
 1円 =約4CFAフラン(2008年6月現在)
 最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。
<http://www.Bloomberg.co.jp/analysis/calculators/currency.html>
 (「ブルームバーグ 為替レート計算」)
- (9) 関係機関 【在外日本関係機関】
 ・日本大使館(在コートジボワール)
 住 所 :Alpha 2000 Tour A1, Avenue Chardy, Abidjan, Cote d'Ivoire
 (01 B.P.1329, Abidjan 01)
 電 話 :+225(コートジボワール国番号)-20-21-28-63、20-21-04-78

【ニジェールの関係官公庁】

・外務省(アメリカ・アジア・オセアニア局)

住所: Boulevard de la Republique

電話: 20-72-37-66

・国民教育省(調査・計画局)

住所: Boulevard de la Republique

電話: 20-72-36-00

・水利・環境・砂漠化対策省(環境局)

住所: Boulevard de la Republique

電話: 20-73-33-29

・中等高等教育・研究・科学技術省(代表)

住所: Boulevard de la Republique

電話: 20-72-36-35

・農業開発省(代表)

住所: Boulevard de la Republique

電話: 20-73-20-58

・保健省(代表)

住所: Boulevard de la Republique

電話: 20-72-27-82

・経済・財務省(代表)

住所: Avenue des Ministeres

電話: 20-72-22-33

(10) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

<http://www.izf.net/izf/Actualite/AFPIndex.html> (西アフリカ仏語圏におけるAFP最新情報)

<http://www.diplomatie.fr/voyageurs/etrangers/avis/conseils/default2.asp>

(フランス外務省「渡航関連情報」)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限りJICA事務所がある都市の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



Yellow Page

1-1 ホテル

最もグレードが高く、各国要人も利用するのはHôtel Gaweye (ホテルガウエ)で、ほかに比べてかなり豪華なホテルである。

日本人がよく利用するホテルはGrand Hôtel(グランドホテル)、Homeland Hotel(ホームランドホテル)、Hôtel Terminus(ホテルテルミナス)等である。

< 4つ星ホテル >

・Hôtel Gaweye

・Grand Hôtel

・Hôtel Ténéré

< 3つ星ホテル >

・Homeland Hotel

・Hôtel Sahel

・Hôtel Terminus



Hôtel Gaweye



Grand Hôtel



Hôtel Terminus

1-2 住宅事情

多くの庭付き独立家屋があり、町の中心にあるビルディング内にはアパートもある。また、公営住宅ビルがあり、設備管理面では多少劣るものの家賃は安い。

家賃は、独立家屋(3LK庭付き)は20万～100万CFAフラン、アパートは15万CFAフランからで、家具付きであれば30万CFAフラン程度である。公営住宅は1LK～2LKで7万～15万CFAフランが一般的である。独立家屋ではガードマンを雇う必要がある。アパートには1棟ごとに警備員がおり、家具付きが多い。クーラー、電気温水機は物件についている場合もあるが老朽化が激しく、必要に応じて入居前に交換を依頼する。



専門家住居。15階建てアパートの10階にある2LK

ニジェール-5

1-3 住宅の探し方

予算に合わせ、不動産会社がいくつかの物件を見せてくれる。納得できる物件に出合えるまで何軒も見るとよい。

Yellow Page 信頼のおける不動産会社は次のとおりである。選定、契約、家賃の支払いから家屋修理まで諸々の窓口となる。

- ・Agence Immobilière Hassane Ide
- ・Agence Immobilière Rabe Mamane

1-4 住宅選定上の留意点

住居の選定時が涼しい季節(11～2月)の場合、クーラーがなくても過ごせそうだと思います。しかし3～10月には酷暑となり、クーラーなしでは過ごせません。入居前に、クーラーおよび温水機が使用可能であること(故障していないこと)を必ず確認すること。

雨季は激しい雨で水がたまりやすいため、低地は避けること。また、天井に雨漏り跡があるか否かも点検する必要がある。

契約後の補修は何かと時間がかかり、家主も嫌がることが多い。契約前に点検を済ませ、依頼するのがよい。

新興住宅街の新築の家は電話回線を引くのに時間がかかるため、できるだけ電話回線がすでに引かれている家が望ましい。また、比較的停電が多いことにも留意が必要。

1-5 住宅の契約

借家契約は通常1年単位で、不動産業者の仲介のもと家主と締結する。その際、不動産業者へ礼金として家賃1か月分の30%を支払うのが一般的。家主の納税の関係上、家賃は3か月ごとの前払いが多いが、交渉しだいで毎月払いも可能である。

家具付き住居の場合は、家具のリストを作成してチェックする必要がある。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電気、水道の契約は、前居住者もしくは家主から名義変更をすることになる。手続きには身分証明書と、前居住者もしくは家主に対する最終請求書が必要である。したがって賃貸物件で、前居住者の支払いが滞っている場合などには、契約時に新規契約者である自分が負担しなければならないため、賃貸契約前に十分確認すること。

電話の新規設置は、近くに電話線がある場合でも申し込み後1～3か月を要する。住居選定の際は、近くに電話線があるか否かもチェックするとよい。

なお都市ガスはなく、特定の雑貨店などでガスボンベを購入する。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220V、周波数は50Hzである。日本から持参した電気製品を使用するには変圧器が必要。

(2) コンセント、モジュージャックの形

コンセントはフランスのコンセントと同じであり、差し込み口が壁より凹んでアースピン



があるのが一般的。コンセント。下部に突き出ているのがアースピン
コンセントに対応するプラグの形状



モジュージャック

もフランスと同様で、日本のプラグとの変換アダプターは、コンセントのアースピンのため、C型もしくはSE型(アースピン穴あり)が有用である。

モジュージャックの形状もフランスのものと同じである。日本出発時に空港でアダプターを購入してくるとよい。

(3) 家電製品

ほとんどの家電を現地で調達できる。ただし、炊飯器は、日本から持参することを勧める。

1-8 家具保険

ニジェールには家具保険は存在しない。

1-9 その他

該当情報なし。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

酷暑地帯であり、年間を通じて夏服で過ごせる。ただし、11～2月の朝夕は日本の高原のような涼しさとなるため、綿セーターや上着なども必要である。

とくに砂漠の広がるアガデス州やディッファ州(但し、いずれの州もJICAでは渡航措置が出されており、一般渡航は禁止となっている)では、夜の冷え込みが0～-5度になることもある。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

・男性……下着、綿靴下、パジャマ、ワイシャツ、ネクタイ、靴、帽子など。

・女性……下着、パジャマ、カーディガン、外出着、靴、靴下、帽子など。

・子供……ひととおりの衣類を、成長を考慮して揃えるのが望ましい。

特に、下着や靴下、靴は良質のものを入手しにくいので、ある程度持参したほうがよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

現地の正装であるグランド・ブーブーはお土産などによい。

女性用ふだん着、男性用ショートパンツ、開襟シャツ、スポーツシャツなどの古着が多く出回っている。また、現地の布を使って好みの服を仕立てることが可能。

(4) その他の留意点

配属ポストにもよるが、ワイシャツは正装時および重要会議の際に着用する程度で、通常の業務時には開襟シャツを着用することが多い。ワイシャツよりカジュアルなものを多めに持参するとよい。

およその目安として、男性が1年間に必要な衣類はワイシャツ2枚、開襟シャツ5枚、ショートパンツ3本、長ズボン3本程度である。

現地では綿と化繊の違い、良質綿と粗悪綿の違いは歴然と肌で感じられる。特に子供には吸湿性のよい綿製品を持参するのがよい。

国民にイスラム教徒の占める割合が高いので、イスラム教の慣習上、特に女性は肌の露出が多い服装は避けたほうがよい。(特に脚部の露出に注意。)

2-2 礼装

(1) パーティー

政府、大使館主催のパーティーでは、男性はスーツ着用、女性はフォーマルなワンピース着用が一般的である。このほかのパーティーでは、男性はワイシャツ、女性はワンピースでほぼ通用する。

(2) 式典

式典には、日本同様、男性はスーツ着用、女性はスーツまたはワンピースなどの着用が好ましい。

(3) 冠婚葬祭

日本ほど堅苦しく考えなくてもよいが、男性はシャツ着用、女性は肌の露出が少ないブラウスやワンピースの着用が好ましい。

(4) その他の留意点

男性、女性ともに、黒の礼服を1着持参するとよいだろう。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

ドライクリーニング店はあるが、絹製品(着物など)には対応できない。

アイロン、電気洗濯機(220V)は現地で購入できる。アイロンは衛生上必需品

である。絹製品などのおしゃれ着洗い用洗剤は、入手不可能。

洗濯機はヨーロッパ等で通常使用されている横型タイプのものの他、日本でよく見られるタイプの全自動洗濯機(韓国製など)も現地で購入可能。

(2) 仕立て、修繕

日本のレベルには及ばないが、ミシンのある仕立て店、修繕店は多数ある。服のほころびや靴の簡単な修繕は、町を歩いて商売している仕立屋や靴磨き屋に頼むこともできる。

(3) 保管

乾燥しているため、カビの心配はない。虫もつきにくい。ウール製品には樟脳などを入れておくほうがよい。防虫剤は現地でも入手できるが、日本製に比べにおいが強く品質は落ちる。

2-4 美容院、理髪店

路上でのひげそり、散髪師のほか、カット、パーマ、シャンプーを行うサロンが数軒あるが、外国人が満足できる技術のあるサロンはあまりない。各サロンの詳細はPart3イエローページを参照。



・Christ'in Coiffure

・Salon de Coiffure El Nasr

シャンプー、リンスはスーパーマーケットでフランス製品を購入できる。日本製品はないので、特に愛用しているものがあれば持参するとよい。また、子供用に散髪セットを持参すると便利である。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

サービスを受けた時やレストランなどで、チップの習慣がある。

(2) 各種サービスに対するチップ

・空港で : 大きな荷物1つにつき、500CFAフラン

・ホテルで : 荷物を部屋まで運んでもらったり、車に乗せてもらったりしたら、1回につき200CFAフランから500CFAフラン

・町で : スーパー、市場での荷物持ちを依頼したら1回50~100CFAフラン

・駐車場で : 車を見てもらったら100CFAフラン

・レストランで : 100~1000CFAフラン(支払い料金の10%程度)

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

市内には中国、フランス、イタリア料理などのレストランがあり、ホテルの料理

よりもおいしくて料金もそれほど高くない。レストランがオープンするのはおおむね19 :30ごろである。屋外のレストランが比較的多いので、夜間は蚊に注意する必要がある。

いわゆる先進国やリゾート地にある高級レストランはニジェールにはないが、それなりのサービスは受けられる。1人あたり2万CFAフラン以下で十分な食事ができる。なお、町の屋台での食事、生水、生野菜はできるだけ避けたほうが無難。

(2) 飲食店

和食の店はない。日本人がよく利用するレストランは次のとおりである。大人数

Yellow Page でなければ特に予約の必要はない。詳細はPart3イエローページを参照。

< 中国料理 >

- ・Dragon d'Or(金龍)
- ・Chez Chin
- ・Changhai(上海)

< フランス料理 >

- ・La Cascade
- ・Tabakady
- ・Diamangou
- ・Hôtel les Roniers

- ・Vivanda

< レバノン料理 >

- ・Byblos
- ・Cascade
- ・Gourmet

< マグレブ料理 >

- ・La Casbah

< ピザ >

- ・La Pizzeria

< イタリア料理 >

- ・Le Pilier

< 西アフリカ料理 >

- ・Maquis 2000
- ・Flamant Rose
- ・Watta



Chez Chin (中国料理)



Tabakady



Le Pilier (イタリア料理)

4-2 食料

(1) 一般事情

雨季(7~9月)には穀物(米、ミレット、ソルガム、トウモロコシなど)、乾季には

野菜という生産サイクルである。

穀物生産は雨量に左右されるため、ニジェール唯一の水源であるニジェール川の有効利用に向けて、種々の灌漑プロジェクトが行われている。食糧の自給自足という目標のため各種の施策がとられているが、現在のところは外国からの援助に依存している状態である。

(2) 主な食品の出回り状況

首都ニアメの食料の出回り状況は年間を通じてほぼ良好であり、時期によって野菜の種類が減ることもあるが、市場から商品がなくなることはない。スーパーマーケットはニアメ市内に数軒あり、ある程度の食品は入手できる。ただし、ほとんどが輸入品であるため価格は高め。中国・アジア食品も若干量手に入る(中国醤油、魚醤、生春巻きの皮、インスタント麺など)。

日本食品の入手はまったく不可能である。

・米……ニジェール米は市場で常に購入できる。ただし独特のにおいがあるため日本人は利用していない。スーパーマーケットではアメリカ米およびタイ米が購入できる。日本米も入手可能な時期がある。

・パン……フランスパン(バゲット)や菓子パン等比較的多様なパンが購入できる。

・肉類……牛肉、羊肉、鳥肉、豚肉、ハムやサラミなどの加工肉はスーパーマーケットで購入できる。露天市場でも豚肉を除き購入できるが、衛生上勧められない。

・野菜……露天市場で購入できる。スーパーマーケットでは輸入野菜(白菜、もやし等があることもある)を購入することができる。

・果物……種類は少ない。マンゴー、バナナ、グレープフルーツ、リンゴ、オレンジなどが露天市場にある。イチゴ、ブドウなどの輸入品はスーパーマーケットで購入できる。

・魚類……アビジャンやコトヌーから空輸されたものを購入することができる。スーパーマーケットにあるものは、冷解凍を繰り返して鮮度が落ちていることが多い。

ニジェール川でとれた魚は市場で生のまま、または薫製にして売られている。ただし、外国人の利用は一般的ではない。

・乳製品……牛乳、チーズやヨーグルトなどはスーパーマーケットで購入可能。

・調味料……香料は市場で購入できる。日本のしょうゆはないが、中国のしょうゆはスーパーマーケットなどで購入できる。「味の素」は入手可能である。みそはない。

・食用油……ピーナツ油、オリーブ油、大豆油、ナタネ油などが購入できる。

・酒類……すべて輸入品で種類も豊富である。ビールは国産品もある。

・飲料水……ニアメ市内の水道水も衛生上万全とはいえないため、十分に煮沸したほうがよい。ミネラルウォーターはスーパーマーケットや食品小売店で購

入できる。

(3) 食料の入手

輸入食品はスーパーマーケットで購入可能。



ニアメ市内の大型スーパーマーケットは3軒 (HADDAD(元Score)、HADDAD、MARINA MARKET)。露天市場にはPetit Marché、Grand Marché、Boukoki、Wadataなどがある。通常、値段交渉をしなければならない。



Petit Marché



HADDAD (元「Score」)



HADDAD



MARINA MARKET

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

上質な包丁、すりこぎ、すきやき鍋、中華鍋などの特殊なものを除けば、ひととりの調理器具は購入できる。ただし、選択の余地はない。和食器(はし、お碗、湯のみなど)は購入できない。



・Tout pour la Famille(「家族の専門店」(旧称:「女性と子供の専門店」))

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

和包丁、和食器は持参したほうがよい。和食、中国料理などに使うものは必要であれば持参すること。また、ふきん、「亀の子たわし」なども持参すると便利である。炊飯器はトランスとあわせて持参するか、海外仕様(220V用)製品を持参するとよい。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

炊飯器を除き、電化製品はひととり購入できる。電圧は220Vである。コンセントの形状が日本とは異なるため、多少割高でも現地で購入したほうがよい

う。

5-2 家具

輸入家具店はあるが、値段が高い。現地の家具職人から、自分の好みの手作り家具を注文購入することも可能。中古家具を扱う露店や、転勤で現地を離れる外国人から中古家具を譲り受けるのが一般的。

自宅でパーティーをする場合など、プラスチック椅子のレンタルは可能。

5-3 日用品、雑貨

フィルムはコダック製品などが出回っているが、価格は日本の3倍程度である。DPEも可能だが、価格は同様に高い。即日現像も可能である。カメラ用品は日本から持参したほうがよい。

その他基本的な日用品や雑貨は、スーパーマーケットHADDADやTout pour la Famille(4-3(1)参照)で揃えることができる。また、文房具類は



Buropa Sarlで入手できる(詳細はPart3イエローページを参照)。

5-4 工具、素材

Petit Marché付近やGrand Marchéなどに、工具や素材を取り扱っている小売店が多数ある。品質はさまざまで、中国製が多い。

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

日系の銀行やCitibankは、ニジェールにはない。いくつかの銀行(Banque Atlantique, ECOBANK, BOA)でATMを利用することができ、国際口座(VISA Plus, Cyrrus)のキャッシュカードを持っていれば引き出し可能だが、故障等も多いため注意が必要である。下記の銀行は、いずれも海外からの電信送金が可能であり、またWESTERN UNIONも取り扱っている。詳細はPart3イエローページを参照。

- ・SONIBANK(Societe Nigerienne de Banque)
- ・BIA (Banque Internationale pour l'Afrique)
- ・ECOBANK
- ・Banque Atlantique
- ・BOA (Bank of Africa)

(2) 口座の開設と閉鎖

海外送金を受ける場合は、compte courant convertible(換金当座預金口座)を開設する。銀行窓口で書類に必要事項を記入し、身分証明書と写真数枚があれば開設できる。また口座を閉める際は、銀行窓口に行けばその場で手続き可

能。

(3) 小切手

電気・水道の支払い、大型スーパーマーケットやホテルなどの支払いも、小切手ができる。小切手は、銀行で口座開設時に要求すれば、無料で提供される。

小切手の発行は開設には1ヶ月程度要するので留意が必要。

(4) 換金方法

ユーロ、米ドルから現地通貨への換金は、銀行、ホテルで可能。日本円からの換金はECOBANK、BIAなどで取り扱っているものの、時期によって換金できない場合もある。T/Cからの換金は銀行で可能だが、円のT/Cは現金同様、時期によって換金できない場合もある。基本的にユーロもしくは米ドルを持参するほうがよい。

6-2 クレジットカード

クレジットカードはニジェール国内ではほとんど使用できないと考えたほうがよい。CD、ATMも一般的ではない。Diners ClubおよびAmerican Expressが、Hôtel Gaweyeなど一部のホテルでのみ使用可能。またエール・フランスで航空券を購入する場合は、Diners Club、American ExpressのほかにVISAも使用可能。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

< 道路状況 >

国内の交通手段は車両が主である。飛行機の国内定期便はなく、Nigeravia (電話 : 20-73-30-64) というチャーター便航空会社が就航するのみである。鉄道はない。

道路は1968年ころから本格的に整備が開始された。ニアメからナイジェリア国境沿いに東部の町ディファに至るルート、途中から北上するアーリットまでのルート(通称ウラン道路)、およびニアメから隣国マリ、ブルキナファソ、ベナンに至るルートが主要幹線であり、ニアメ～マリ国境間の一部を除き、すべて舗装されている。

しかし幹線道路から各町村へ分かれる道路の多くは未舗装であり、雨季には決壊したり寸断されたりする箇所もある。

また、トランスサハラ道路(アルジェ～ラゴス間、4650km)の一部としてアガデス～ザンデル間の舗装が予定されている。

< バス、タクシー、レンタカー >

公共交通機関としてSNTV(エスエヌテーヴェー:旧国営バス)、AIR

TRANSPORT(アイール・トランスポール)など複数の大型バス運行会社が主要都市間を運行している。ニアメから遠方の都市(マラディ、ザンデル、タウア、アガデス、アルリット)行きはほぼ毎日各社の大型バスが運行されており、ニアメ近郊の都市(ティラベリ、ドッソ、ガヤ)行きはほぼ毎日Africa Assalaamt(アフリカ・アッサラム)が中型バスを運行している。その他の主要国道沿い以外の目的地への便は後述する乗り合いタクシーのみとなる。なお、大型バス、中型バスでの移動を行う際、原則出発の18時間前までの予約が必要である。隣国のマリ、ブルキナファソ、ベナンへの国際便もある。

ニジェール人に最も利用されているのは長距離乗り合いタクシー(タクシー・ド・ブルース)である。SNTVの半額程度の料金で毎日運行している。ただし、ワゴン車(「トヨタ・ハイエース」「ニッサン・キャラバン」など)に定員の1.5~2倍を乗せ、しかも乗客数が満たないと出発しないため、出発、到着の時刻は定まらない。したがって安全性、乗り心地、時間の正確さではSNTVに劣る。また、2002年9月に夜間長距離タクシーとトラックの重大事故があって以来、夜間発の都市間の公共交通機関の運行はニジェール政府によって禁止されている。

ニアメ市内には乗り合いタクシー(相乗り式)があり、市民の足として多く利用されている。通常は1区間200 CFAフランであるが、利用者の少ない方面へ行くには2~3区間分の料金を支払わなければならない。

自家用車を除き、予算が潤沢にある場合、最も効率のよい移動手段はレンタカーの利用である。

2008年6月現在、ニアメのガソリンとディーゼルの料金は、以下のとおりである。

- ・ガソリン 670CFAフラン/リットル
- ・ディーゼル 664CFAフラン/リットル

(2) 空港から市内への移動

市内バスは空港を循環していないため、タクシーを利用する。料金は市内までは3000~6000CFAフラン。タクシーメーターがないので、乗車前に料金交渉する必要がある。ホテルによっては送迎サービスを行っているので、予約の際に確認の上送迎を依頼する。

また、旅行会社も送迎サービスを行っているが、事前の予約が必要。

(3) 自家用車を利用する場合

運輸業者以外の車両には車検制度はないため、各自の日々の車両点検が肝要である。交通法規はフランス式で右側通行である。ロータリーでは右から来る車両が優先となるので注意すること。

ニアメ市内でも街灯が少なく、光軸調整のされた車両も少ないため、夜間の見通しは極端に悪い。また、羊、ヤギ、牛、ラクダなどの家畜のほか、牛車、ロバ車の識別も非常に困難であるため、特に郊外での夜間の運転は避けたほうがよい。

通行車両が少ないこともあり、時速100km以上で運転する人が多いため、十分な注意が必要である。また、対向車や前方を走行する車両のはじいた石によりガ

ラスにヒビが入ることもある。未舗装道路を乗用車で走行するのは避けたほうがよい。

車両保険の有効期限を確認しておくこと。

(4) レンタカーなどを利用する場合

ニアメ市内にレンタカー会社が複数あり、車両のみ、または運転手付きで利用できる(ただし、四輪駆動車の車両のみのレンタルは不可)。



詳細はPart3イエローページを参照。

(5) 地図

地図の入手は、文房具店(Buropa, Photo Guida)、空港の売店もしくはニジェール国家地理院(IGNN、電話 :20-72-33-23)で購入可。入手が比較的安易な地図は、ニジェール全土とニアメ都市部のもの。それ以外の地図は、国家地理院で扱っているが、多くの地域の地図は長期間再版されておらず、入手が困難である。ニジェール全土の地図を入手するのであれば、フランスなどの先進国で、「ミシュラン」の西アフリカ・北アフリカ版を購入しても十分有用である。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

事故の際、ニアメ市内では各区にある警察へ連絡してポリス・レポートを作成する。市外路上では公衆電話などはないため、万が一のためにも携帯電話の携帯を勧める(現場を通りがかったドライバーなどが連絡してくれることもある)。警察への電話番号は「17」。連絡後、30分～1時間程度でパトロール部隊が到着する。

負傷者がいる場合、ニアメ市内では救急車を持つニアメ国立中央病院かクリニック・ド・ガンカレーへ連絡する。市外では通りがかりの車両に依頼して最寄りの県立病院に行き、応急手当を受けることになる。

再衝突などの二次災害を避けるべく、現場を離れる際は遠方からも確認できるサインを出しておく必要がある。

一般に、事故を起こした当事者は自己の正当性を主張する。冷静な対応を心がけ、ポリス・レポートを作成したあとは保険会社に委ねるのがよい。

(2) 救急病院



・ニアメ国立中央病院

・クリニック・ド・ガンカレー (Clinique de Gamkalley)

(3) 車両の盗難、車上荒らし

件数は多くないが、ウインドーガラス、タイヤ、テールランプなど、はずせるものは盗まれることがある。バイクや自転車も同様である。ガラスを割って車内の物品を盗まれることはまれであるが、長時間駐車する際、貴重品を車中に放置するのは避けるべきである。

市内に駐車すると、自称ガードマンが付近からやってくる。長時間駐車の場合

は見張りを依頼するとよい。50～100 CFAフランで引き受けてくれる。特に、夜の長時間の放置は避けたほうがよい。

日本から盗難防止装置などを持参して取り付けておくのもよい。

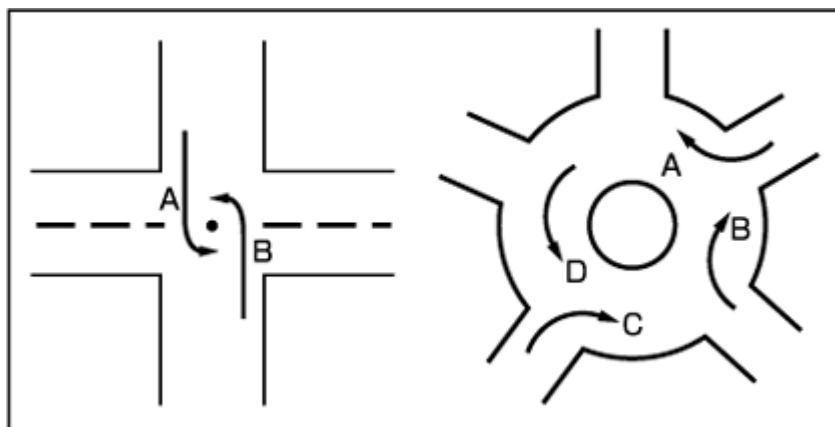
7-3 交通違反

(1) 交通法規

<右左折>

交通法規はフランスとほぼ同様で、車両は右側通行である。交差点での左折は、日本とは違い図1のように(交差点中央に設置された警官立ち台がある場合はそれを中心として対向車を一度やり過ごした後に左折する)行われている。また市内にはロータリーが多くあり、右側優先の原則が適用されている。

図2では、AはBより、CはDより優先権がある。



(図1)左折方法

(図2)ロータリー

なおニアメ市内でも舗装路は少なく、道幅の広いところでもセンターラインは引かれていない。また、舗装路もいたるところで大きな陥没箇所が見られる。このような道路状況下で、場所によっては陥没箇所を避けて通行するため右側通行が守られていない。したがって、上記交通法規は原則として踏まえておき、実際の運行にあたっては、進路変更やロータリー進入は、車の流れを見ながら十分に気をつけて行う必要がある。

<信号>

市内のいくつかの交差点では信号機が設置されているが、場所によってはレンズがすべて割れてしまっているため、青(進め)、赤(止まれ)、黄の識別ができない。信号機は上から赤、黄、青の順で並んでいるため、一番下のランプが点灯している場合は「進め」である。

<注意すべき点>

標識のない道路の制限速度は、市内では時速50km(一般車)、市外は時速130km(舗装路)である。そのほか一方通行などに注意を要する。

日本のような多岐にわたる交通違反の検挙はないが、以下は特に留意すること。白バイがサイレンを鳴らして、単独またはVIP車両を先導して通過する時は、

付近のすべての車両(自転車なども含む)は速やかに路肩に停止しなければならない。また、国家重要施設付近の駐停車違反は、まれに罰則ではなく発砲される例もある。日中でもフォグランプを点灯したピックアップの霊柩車の通過時も同様に右側に車を寄せ一時停止する。

(2) 罰金、罰則

交通法規違反を指摘され、警察署に連行された場合は、免許証を没収され反則金を支払うことになる。時には二国間協定の免責条項により放免されることもあるが、良識上からも支払うべき性格のものと考えられる。

事故を伴わない場合の反則金は4000 CFAフランである。

7-4 車の修理

(1) 部品

フランス製「プジョー」車と日本製「カローラ」「ランドクルーザー」の部品は、時々在庫の切れることはあるが比較的容易に入手できる。その他の車種、特に日本製乗用車に関しては、純正部品が高価なこともあって代用部品に駆逐され、代理店でも入手困難な状況である。

(2) 修理工場

ニアメには民間の修理工場が多くあるが、そのほとんどは十分な設備を有していない。比較的安心して依頼できるのは車両代理店(「19-2 自動車」の項参照)の修理工場のみである。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

固定電話を設置しているのは外国人住居、政府要人宅、大・中企業および主要官公庁程度であり、一般住民にはほとんど普及していない。なお、官公庁であっても、支局、分室などには、いまだ固定電話が設置されていないところも多い。一方、携帯電話はいまや個人レベルまで広く普及しており、業務上の簡易な連絡は携帯電話を利用するほうが迅速である。

市中で利用できる固定電話として、テレサントル(Tele Centre)が挙げられる。テレサントルとは、電話機が1台もしくは複数台設置してある民間の公衆電話サービスである。電話機にメーターが併設されており、そのメーターによって料金がわかる仕組みとなっている。場所によっては、ファックス、パソコンも設置されており、ファックス送付サービスやインターネットサービスも行っている。料金は業者によって異なるが、最も安価なテレサントルはDune Telecomで、日本への国際電話料金は1分間約350 CFAフラン(約85円)である。

(2) 国内電話

ニアメおよび各県庁所在地、ならびに主要都市間はダイヤル自動通話が可能

であり、それ以下のレベルでは局の交換を通じての呼び出し式も残っている。料金は市内では1分間25CFAフラン(約6円)、市外では150CFAフラン(約37円)。国際電話はZone1(UEMOA圏内)で1分間250CFA(約60円)フラン、Zone2(その他)で350CFAフラン(約85円)。なお、時間帯による料金割引はない。

(3) 国際電話

国際電話もダイヤル自動通話が可能である。日本へも、国際呼び出し番号に日本の市外局番の頭の0を除いた番号を続けてダイヤルすることにより、即時に通話できる。通信状態は時間帯にもよるが比較的良好である。

00(国際電話呼び出し番号)-81-最初の0をとった市外局番-電話番号

日本までの通話料金は、家庭に設置した固定電話からで、1分間約350CFAフラン(85円)である。なお、時間帯による料金割引はない。

(4) 携帯電話

日本で使用できる携帯電話をニジェールに持ち込んでも、ニジェールでは使用できない。現在ニジェールで利用可能な携帯電話会社は、旧国営のSAHEL COM、CELTEL、MOOV(旧、TELECEL)の3社に加え、2008年6月からフランス企業のORANGEもサービスを開始した(ただし、2008年7月現在、サービスエリアはニアメ、マラディ、コンニ、ザンデルに限定されている)。ニジェールの携帯電話は、ヨーロッパ/アメリカ規格のGSM方式を採用しているため、ヨーロッパもしくはアメリカで入手したGSM方式の携帯電話であれば、ニジェールで新たにチップカードを購入することにより使用できる機種もある。

契約の形態は2種類。氏名/住所/電話番号を登録して月々の請求書に対して支払うタイプと、電話番号のみを登録し度数を使用するつど購入するプリペイドタイプ。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

ファクシミリは徐々に普及している。また、ホテルおよび中央郵便局(電話 : 72-23-99、73-31-99)、プラトー郵便局、テレサントルなどを利用して海外との送受信も可能である。

(2) 電報

8:00~12:30、15:30~16:30に中央郵便局の電報カウンターで受け付けている。配達制度はなく、私書箱を通じて受け取る。日本への料金は1単語(10文字)350 CFAフランである。

(3) インターネット

Yellow Page ニジェールにはSONITEL(国営電話会社)というプロバイダーがある(詳細はPart3イエローページを参照)。インターネット接続契約をするには、SONITELとの電話の契約が必要。一般に普及している形態は2種類あり、電話線を引いた上でのダイヤルアップ方式と、「Dogonay」という商品名の移動式固定電話(電話

線の敷設が不要)による定額制つなぎ放題方式が存在する。接続料金は電話料金とともに請求される。Dogonayの場合、速度が最大115kbpsで、インターネット使用料は税込みで月々45,000CFAフラン(約11,000円)である。

その他、2008年6月現在、ADSLサービスも開始されているが、モデムの不足により申し込んでもサービスがスムーズに提供されない状況である。料金は、通信速度に応じて異なるが、かなり割高である。また、衛星を使いインターネットに接続するAFRIPAというプロバイダーがあるが、接続料金は非常に高い。

なお、日本のインターネットサービス・プロバイダー各社が契約しているローミング接続業者(iPass)のアクセスポイントを使ってインターネットを利用することもできる。また、AOLは独自のアクセスポイントを持っており接続可能である。ただし、ローミング接続、AOLともに、持参するパソコンから接続できないという事例が散見するので、日本を出発する前に、契約しているインターネットサービス・プロバイダーに接続方法、接続ソフトウェアの有無などを確認したほうがよい。AOLは、現在独自アクセスポイントでは接続不可。インターネットSahel.comで契約をしてIntnet経由で接続することはできる。

一部のテレサントルでは、インターネットサービスを行っている。またCCFN(フランス・ニジェール文化センター :Rue du Musée(B.P.889, Niamey)、電話 : 20-72-20-67)でもインターネットサービスが利用できる。

8-3 郵便

(1) 一般事情

配達制度はなく、郵便物はすべて私書箱で受けることになる。私書箱は、中央郵便局(電話 : 20-72-23-99、20-73-31-99)およびプラトー局に設置されている。

主な郵便料金は次のとおりである。(単位 :FCFA=フランセーファー)

・ニジェール国内あて

重量20gまで175FCFA、100gまで545FCFA、250gまで1,010FCFA、500gまで1,680FCFA、1kgまで2,350FCFA、2kgまで3,365FCFA

・日本あて

重量250gまで2,345FCFA、500gまで4,500FCFA、1kgまで8,560FCFA、(1kg以上は別料金体制) 5kg 57,881FCFA、10kg 103,324FCFA、15kg 149,994FCFA、20kg 195,527FCFA、25kg 207,875FCFA、30kg 298,851FCFA

・フランスあて

重量250gまで1,175FCFA、500gまで2,345FCFA、1kgまで4,295FCFA、2kgまで7,810FCFA、2.5kgまで9,980FCFA、3kgまで11,975FCFA、5kg 16,575FCFA、10kg 27,075FCFA、15kg 40,575FCFA、20kg 52,075FCFA

(以上の料金はすべて航空便のもの。船便は重量が重いものに適用される。)

書留、小荷物、小包などが届いた時は、まずその旨の通知書が私書箱に届くので、それを持参して各窓口で受け取る。小包は中央郵便局から離れた小包局で身分証明書を提示して受け取る。海外からの小荷物、小包は、荷受人立ち会いのもとで荷を解き、税関検査の上引き渡される。

検査は公正であり、ほとんどの品は問題なく受け取り可能であるが、ビデオテープの場合は数日間留め置きされ、検閲を受けることもある。引き取り手数料は小荷物で1000 CFAフラン、小包で1650 CFAフラン程度である。

(2) 課税

郵便小包程度の雑貨、食料品、生活用品に課税されることはないが、新品の電化製品、時計などは対象となり、購入価格の100%程度課税される。

(3) 国際宅配サービス

ニジェールではDHLが利用可能である。

DHLには登録顧客と通常顧客とがあり、年間登録料金を支払い登録顧客となると、割引料金を荷物を送付でき、集荷サービスも受けられる(通常顧客はDHLの事務所に荷物を持ち込まなければならない)。ニジェールにはニアメ本部、ホテルガウエ、マラディ、ザンデール、タウア、ドッソ、アガデスにそれぞれDHLの事務所がある。発送が週に6便ある。(土曜日の午後のみ休業。)



9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の仕方

Windowsマシンは機種と納期に細かい制限がなければ、販売代理店経由で比較的容易に入手することができる。Macintoshはニジェールに代理店がないため、入手不可。

Windowsマシンに付属するシステムは通常フランス語版であり、キーボードも同じくフランス語版である。しかし、WindowsはWindows2000以降、フランス語システム上で日本語の文書入力ができるため、Officeソフトなどを日本語で揃えることによって、フランス語システムでも日本語への対応は可能である。

パソコン購入時には19%の付加価値税が課せられる。



販売店にはGamma Informatique等がある(詳細はPart3イエローページを参照)。

< 日本仕様パソコン >

日本仕様のパソコンの現地販売代理店からの入手は不可。日本語のパソコンシステム(Windowsほか)の入手もできない。ただし、販売代理店によってはパソコンハードウェアの修理を引き受けるところもある。

最新の日本仕様のデスクトップパソコンやノートパソコンは、100Vと240V両方に対応したものが多く、そのままニジェールに持ち込んでも、多くの場合、設定スイッチを変える、コンセント用に変換プラグを用意するなどの対応で十分使

用できる。

< 周辺機器 >

周辺機器は入手可能であるが、すべてフランスからの輸入のため、機種と納期において大きく制限を受ける。周辺機器のメディアは、フロッピーディスク(FD)、CD-R、CD-RWなどは業者にも在庫があり比較的入手が容易であるが、MO、DVD関連メディアはまだそれほどニジェールで普及しておらず、入手に非常に時間がかかる場合が多い。

(2) 使用の際の注意

デスクトップパソコンを業務で使用する際は、無停電電源装置とスタビライザーは必須。ノートパソコンでもACアダプターの故障を避けるため、スタビライザーを使用することを勧める。ネットワーク線、電話線も同様にスタビライザーを接続したほうがよい。無停電電源装置とスタビライザーはニジェールでも入手可能。FDは、微少な埃と熱のためにすぐにFDメディアが劣化し、読み込みできなくなることが多いため、記憶メディアであれば、USBマストレージ、MO、CD-R、外付けHDなどが望ましい。また、ノートパソコンのACアダプター、HD、バッテリーなども熱などによる故障が頻発するため、予備のものをあらかじめ日本より持参したほうがよい。

現地販売代理店が有料でソフトウェアをインストールするサービス(CDを販売せずインストール1回のみ)があるほど、ソフトウェアの著作権に関する意識は低いが、海賊版ソフトなどは特に大きく流通していない。現地販売代理店でソフトウェアを正規に購入すれば、未開封のパッケージを購入できる。

ニジェール独自のコンピューター・ウイルスこそないが、ニジェール人が使用しているパソコン(特にWindowsマシン)はすべてウイルスに感染していると考えてほぼ間違いがない。多くのウイルス・ワクチンソフトは日本語版、フランス語版ともに定義ファイルが共通であるため、性能に大きな差はない。ニジェールで比較的普及しているワクチンソフトは“Norton AntiVirus(フランス語版)”であるが、バージョンが低いものや定義ファイルが更新されていないものが多い。

(3) 修理

パソコン(Windowsマシン)の販売代理店によっては、パソコンの特にハード面の設置、メンテナンス、故障修理などを行える業者もある。Macintoshは故障修理をする業者はない。

Windows環境(もしくはUNIX/Linux環境)であれば、フランス語環境上でソフトウェア設定、サーバー設定、メンテナンスなどができる業者はあるが、日本語環境でそれができる業者はなく、Macintoshに関しては日本語・フランス語環境ともに皆無である。

なお、(1)のパソコン販売店Gamma Informatique等には、修理も依頼できる。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

他国に派遣される専門家と同様、ニジェールに派遣される専門家の職種ジャンルは非常に幅広い。ゆえに配属される省庁もそれぞれに違い、一般的な職場環境、勤務条件などはその省庁や職務形態によりバラツキがある。

(1) 就業時間

就業時間はニジェールの官庁の就業時間と同じで、午前が7:30～12:30、午後は15:00～18:00(10月1日～2月末日)、15:30～18:30(3月1日～9月30日)である。ただし、断食期間中は7:30から15:00まで昼休みなして勤務する。

通常期間中は昼休みも長く、専門家の同僚公務員も家まで帰って昼食をとるのが一般的。

なお、専門家と一緒に勤務する公務員でも残業の習慣はほとんどないが、局長クラスの官僚は残業をする。

(2) 有給休暇

休暇は土日・祝祭日のみである。ただし、公務員は1ヶ月休暇を取る権利がある。専門家の就業規則には、有給休暇の有無などの規定はない。すべて日本側の規則によっている。



(3) 執務室

専門家の執務室は、個室が与えられることが多いが、多くの省庁がスペース不足に悩んでおり、大きな部屋はあまり望めない。執務机、椅子、パソコン、書庫などは用意されているが、日本人にとってあまり使い勝手のよいものとはいえない場合が多い。特にパソコンは、あっても非常に旧型で、専門家自身が用意したものを使っているケースが多い。

(4) 通勤事情

専門家のオフィス

専門家の職場は、ニアメ市内の官庁街が主である。専門家の住居は治安状況のよいプラトー地区やクアラカノー地区が多く、その間を結ぶ安全な公共交通機関は特にない。ゆえに専門家の通勤は、タクシーによる通勤も可能であるが一般犯罪を避けることや仕事での外出も多いため、通常は個人所有車である。

11. 出入国手続き

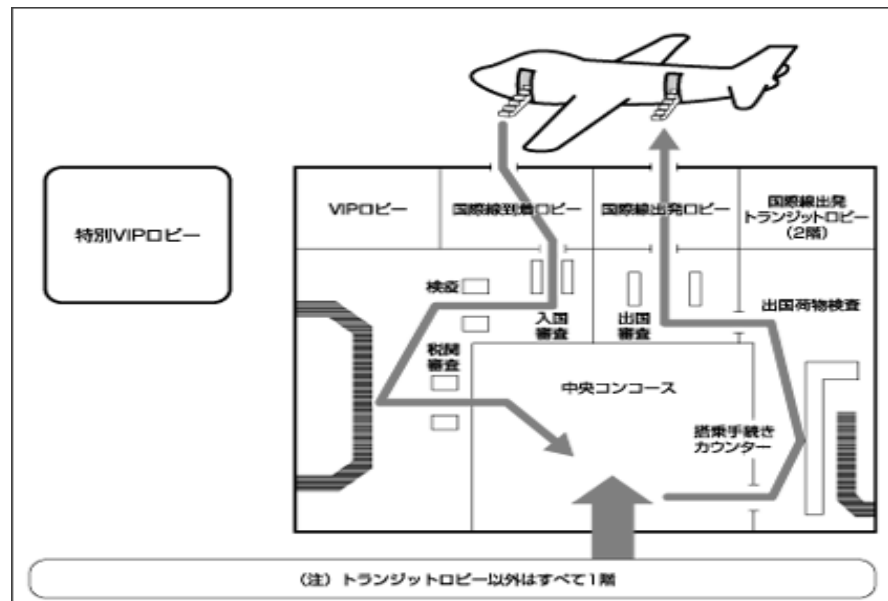


11-1 入国

(1) 空港施設概要

パスポートコントロール、検疫、預け入れ荷物引取り、税関の順に進む。

空港案内図



(2) 入国手続き書類

入国カードは通常機内で配付されるので、あらかじめ記入しておく。機内で配布されない場合は、到着ロビー入口で担当官が配布しているので、入国審査前にロビーで記入する。

ビザは入国前に取得する必要がある。ビザは、空港でも20,000CFAの手数料を支払えば取得可能であるが、日本から来る場合、経由地のパリで搭乗手続きをする際にニジェールビザがないと搭乗できない可能性が高いため日本出発前に取得しておく必要がある。

また、ニジェールへの入国に際しては黄熱病の予防接種が義務づけられており、黄熱病予防接種済み証明書(イエローカード)も必要である。有効期間を確認しておくこと。

外貨持ち込み額、税関および検疫に関する書類は特にない。

(3) 入国審査

記載済み入国カードを旅券とともに審査官に提示する。荷物検査は厳重で、預け入れ荷物引き取り後、スーツケース等を開けて中を調べられることも少なくない。

(4) 税関検査

免税で持ち込めるのはタバコ200本、酒類1リットルまでである。新品の電化製品は課税されることがある。ビデオテープは検閲のため1週間程度預けることになる。ポルノ関係は厳禁である。外貨持ち込み額は特に問われない。

(5) 空港内での留意点

当然のことながら、不審な行動は慎むべきである。空港周辺および軍事施設の写真撮影は禁止されている。

入国ゲートを通過するとポーターが大勢押し寄せる。職員は番号のついた薄茶

色の制服を着ているので彼らに依頼するとよい。バッグ1個につき500 CFAフラン程度である。私服のポーターは不当にチップを請求するので厳重に断ること。

(6) 空港からの主な交通手段

市内循環バスは空港まで運行しておらず、タクシーを利用するのが一般的である。空港から市内まで3000～6000 CFAフランである。国内のタクシーにはメーターがついていないので、あらかじめ料金の交渉をすること。またホテルを予約している場合はホテル専用バスを利用することもできる。

(7) その他の留意点

空港内では外貨交換はできない。CFAフランは西アフリカ諸国同一通貨なので、コートジボワール、セネガルなどから入国する際はそのまま使用できる。CFAフランを持っていない場合、ポーターへのチップは1ユーロ程度を目安とする。

入国ビザは3カ月で無効となるので、長期滞在の場合は期限が切れる前に滞在ビザ(1年間有効)を取得する必要がある。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

「12-1(1)空港施設概要」を参照。搭乗券入手後、出国カードに記入して出国審査を受ける。機内持ち込み荷物の検査は出国審査の後と搭乗前の2回。

(2) リコンファーム

出発72時間前までにリコンファームしないとキャンセルになることがある。旅行代理店Satguru(Part3イエローページ参照)で発行したものは電話でリコンファームができる。それ以外は航空会社に出向き、チケットに押印してもらう方法が確実である。

(3) チェックイン

出発2時間ぐらい前から受け付け開始となる。またエール・フランスは、出発当日の夕方にプレ・チェックインを受け付けている。

(4) 空港利用税

不要。

(5) 出国手続き上の留意点

出国手続きの際は、パスポート、搭乗券、出国カードが必要。機内持ち込み荷物は、大きさ、重量をチェックインの際に検査され、規定を超える場合は再度荷物を預ける手続きを行う必要があるため、注意すること。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

旅券、ビザ、予防接種証明については、滞在期間中に有効期間が切れないように注意すること。

水公社(SEEN)、電気公社(NIGELEC)、電話局(SONITEL)の解約手続きを

済ませること。銀行口座を閉めること。

(2) 車の処分

スーパーマーケットなどに広告を出して買い手を探すことになる。二国間協定のもと免税購入した車両は、同じく免税対象者に売却したほうが手続きは容易である。非免税対象者に売却する場合は相手に税金の支払い義務が生じるため、購入する側の了承を得る必要がある。なお免税車両の売却には、免税対象者に売却する場合でも、税務署の許可証(Certificat de vente)を取得する必要がある。買い手が決まったら、運輸省で車両証明書 (carte grise) の名義変更を行う。

(3) 家財道具の処分

現地で処分する場合は、車同様、スーパーマーケットなどに広告を出して買い手を探し直接販売する。またニアメ市内では路上で中古家具を販売しているので、彼らと値段交渉して引き取ってもらうことも可能。

日本へ郵送する場合の航空便の料金は以下の通り(船便はない)。

1Kg..... 20,807CFA

3kg 36,902CFA

5kg 57,706CFA

10kg 103,149CFA

15kg 149,819CFA

20kg 195,651CFA

30kgの場合の料金は20kg+10kgとなる。30kg以上は受け付けない。

アナカン(別送航空便)を利用する際は旅券の提示が必要である。運送会社は空港の税関近くにあり荷物は個人が直接運ぶ例が多い。アナカンの運送会社は次のとおりである(Part3イエローページを参照)。



・NITRA

・SDV

(4) 住宅の明け渡し

家主への通知は明け渡しの1カ月前が通例である。入居時と比較して家屋が損傷している場合は、元の状態に修理する、もしくは修理代を支払うことになる。備え付けの家具についても同様である。

(5) 外貨持ち出し規制

CFAフランのCFAフラン圏外への持ち出しは禁止されている。また圏外ではCFAフランから他の通貨への換金はいできない。

銀行口座の解約は開設した窓口で行う。日本送金口座 (compte courant convertible=換金当座預金口座) は外貨口座なので、残金は帰国の航空券を提示した場合のみユーロで引き出しができる。また、国外への送金も可能である。手持ちのCFAフランは銀行窓口にて外貨に交換することができる。

12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

安全対策について

< JICA渡航基準 >

アガデス州及びディッファ州の全域、タウア州北部、ザンデル北部及び東部は、原則立ち入りを禁止している。(業務上やむをえない場合は地域によっては事務所長承認により業務渡航が認められる場合もある。)

< 政情 >

タンジャ政権が5年間の任期をクーデターなしで乗り切ったこと、2004年12月の大統領選挙も平和裏に実施されたことにより、これまで国際社会から「政治的不安定国」とみられていたイメージは払拭され、政情は安定化の流れにあった。ただし、2009年の大統領選挙に向けて政情悪化の可能性もあり、予断を許さない状況。

< 道路交通状況等における日本との相違点 >

車輛の右側通行

交差点などにおける右側優先及び左折方法(日本においての右折時との違い)

路上の動物が多い事

未整備及び、未舗装道路の多い事(舗装路面に砂が多くスリップしやすい)

整備不良車の多い事(ニジェールではタクシー以外車検制度がない)

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

- ・反政府勢力「正義のためのニジェール運動」(MNJ)が、北部に所在する政府軍基地を2007年2月に攻撃したことを皮切りに、乗合バス襲撃事件、アルジェリア国境付近のウラン調査キャンプ襲撃事件などの事件を起こしており、政府軍との間で散発的に戦闘が繰り広げられている。
- ・アデガス県では武装盗賊・強盗団による砂漠・山岳ツアー客を狙った強盗致死事件が毎年のように発生していることから、JICA関係者の立ち寄りを制限している。
- ・2007年末から2008年初頭にかけて、タウア市、マラディ市、ニアメ市内にて地雷爆破事件が発生し、死傷者が出ている。

(2) 対処法

ニジェールには日本大使館がないため、在留日本人に対する情報提供、安否確認、安全措置は、在コートジボワール日本大使館、JICA本部との連携により、JICAニジェール事務所が行う。

< 基本的対処法 >

- 1) 落ち着くこと。
- 2) 自分自身の安全を確保すること。

群衆に近づかない。外が異常に騒がしい場合には、外出を控えるなど。

3) 事務所に自分の安否を速やかに連絡すること。

自分の身の周りに何か異変を感じたら、とりあえず一報を入れるという心がけが、いざという時の安否確認を迅速にする。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

市内繁華街でのスリ、ひったくり、詐欺、また住宅街での空き巣などが発生している。夜間の治安は悪化する傾向にあるので、外出は控えたほうがよい。

ブルキナファソ国境・ベナン国境に向かう国道やナイジェリアとの国境沿いの道路では、路上封鎖強盗も発生している。

イスラム色の強いニジェールでは、イスラムの祭日前に一般犯罪が急増する傾向にあるので、特に注意が必要である。

(2) 住宅の防犯対策

一戸建てに住む場合は必ず警備員を雇う。その他必要に応じて以下の防犯対策を講じる。

・塀のかさ上げ : 2~2.5mを目安とする。

・照明の取り付け : 住居周辺・庭を照らす照明。賊を住居付近に近づけないことを目的とし、夜間はつけっぱなしにする。

・門扉、住居入口ドアなどへの鍵の追加 : もともと設置されている場合でも品質の悪いものであることが多く、簡単に壊される可能性が高い。追加して設置する場合でも信頼性の高い鍵を選定すること。

(3) 市中での防犯対策

・市内繁華街(市場、バスターミナル、博物館周辺)では、強盗・スリ・ひったくり・詐欺などが発生しており、邦人も被害にあっている。夜間の単独・荷物携行での歩行は厳に控えること。夕食をとる場合は近距離であっても車を利用のこと。時計やウェストポーチを着用しての暗い時間帯のジョギングは控えること。

・不定期に市民・学生デモが発生するので、遭遇した場合は、興味本位で近づいたりせず、すぐにその場から退避すること。

< 犯罪被害に遭わないための留意事項 >

・被害が集中している「博物館周辺」の夜間・未明の徒歩通行を行わないことが最重要。

・夜間は至近距離であっても必ず車を利用する。

・夜間、タクシーを歩きながら探すことは極力避け、店の警備員に依頼してタクシーを店の前まで呼んでもらうなどの対応が肝心。

・出来るだけ複数で行動する。女性だけの少人数も避ける。

・大きいナップサックは金品が入っていることを想像させるため、市場などでの買い物の際は、極力最小限の荷物とし、支払の際に財布を見せないで済む

よう必要な金額だけポケットにいれておくとい。

- ・携帯電話はスリの対象となりやすいので極力露出しない。
- ・歩行中や買い物中でも、時折振り向くなど常に周囲の様子を伺い、犯罪者にとって狙いにくい対象の自分を演出する。
- ・車輦搭乗中に交差点等で停止したときはドアロック、窓ガラスを閉めることを徹底。

(4) 注意すべき場所、危険地域

- ・博物館周辺(エルナッスルアパートメント、周辺繁華街含む)が要注意地区。昼間でも襲われる危険性がある。
- ・ケネディ橋付近、カタコ市場周辺、人の往来がなくなったセイニクンチェ競技場(スタッドシノワ)。
- ・大統領官邸や軍関係施設では、門の前で立ち止まったり、話しかけたりするなど不審な行動は避けること。(警護隊が銃で撃ってくるため)

(5) 被害時の心得

- ・狙われてしまったら無抵抗に徹し、お金や鞆を渡し、強盗が立ち去って行くのを待つ。(犯人は複数の場合が多いので反撃はしない)
- ・直ちに警察に行き、被害届けを出す。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

貧民街のわらぶき住居が密集する地域や闇市のある地域では、火災が発生しやすい。またニアメ市内の協力隊員宅付近でガスボンベを販売している雑貨店で、何らかの原因でガスボンベが爆発し、火災が発生した例もある。

降雨の前ぶれとして風が起こる。5～7月のモンスーンでは立ち木が折れたり、電線が切断されたりすることもある。12～2月のハルマタン(サハラ砂漠から飛来する砂塵)の際も同様である。

大規模な水害の例はないが、排水施設の整備がなされていないため、窪地に雨水がたまりやすく家屋が浸水することがある。

地震の可能性は極めて低い。

(2) 防災対策

火災に備えて消火器を設置しておくとい。

雨季の暴風雨に備え、高い木は枝を切る必要がある。特にユーカリなどは成長が早いため、放置しておくとも落雷の可能性があり、また電話線や送電線に悪影響を及ぼすことがある。

常時3日分程度の食料を備蓄しておくとい。断水もよくあるので、飲料水と生活水の確保も必要である。また、停電に備えてランプ(ランタン)や懐中電灯を用意しておく必要がある。

ろうそくは暑さで曲がってしまい使えないことが多いため、ランプ(ランタン)を

用意の方がよい。入手は国内どこでも可能。

(3) 被災時の心得

家屋に損傷を受けた場合は、家主または不動産会社に連絡する。

12-4 緊急連絡先電話番号

・日本大使館(在コートジボワール) :

+225(コートジボワール国番号)-20-21-28-63、20-21-30-43

・警察 :17

・消防、救急車 :18

13. 社交



13-1 風俗習慣

ニジェール人同士では、互いの家を訪問し合うことが習慣とされている。特に洗礼式や結婚式等の祝い行事への参加、また病人やケガ人の見舞いや、不幸があった時のお悔やみを伝えるに自宅を訪問すること等は、大切な礼儀とされている。

ほとんどの人がイスラム教徒のため、豚肉は食せず、酒も飲まないとされているが、酒を飲む人は案外見かけられる。ラマダン(断食)月は、日の出から日没まで一切飲食、喫煙はしない。ラマダン期間中は、ニジェール人の日中の業務効率が落ちることを考慮する必要がある。なお、レストランはラマダン期間中の昼も営業している。

13-2 パーティーでの留意点

現地の来客が多い場合は、通常より酒は控えめにしたほうが好ましい。酒を勧める場合は、飲むか否かを尋ねてからのほうがよい。

13-3 来客時の留意点

現地の人をもてなす場合は豚肉を使わないこと。酒も控えめにするのがよい。

特に日本人が多い席などで、日本語だけで会話をするのは控え、良識を持ってもてなすべきである。

13-4 訪問時の留意点

現地の祝日などの訪問時には、土産として砂糖や子供に菓子などを持参すると喜ばれる。

敬虔なイスラム教徒の場合、異性に触れることを嫌がるので、こちらから異性に対し握手を求めることは、控えた方が無難である。逆にむこうから握手を求められたときは、個々の判断で応じて問題ない。

家庭によっては、家に入る時に靴を脱ぐようにしている場合もあるので、最初に確認したほうがよいだろう。

13-5 禁止されている言動(タブー)

左手で物の受け渡しをしたり、子供の頭をなでたりすることは避けること。

自分の車両が霊柩車とすれ違う時は、車両を停車して霊柩車が通りすぎるのを待つ。また、霊柩車が自分の前方を走行している時には追い越しは避けること。

13-6 日本人会

日本人会は存在しない。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

「Association Nigerienne des Anciens Stagiaires de l'Education au Japon(ANASEJ)」

代表(会長): Mme.Hama Ramatou 96-97-93-38.

2004年4月発足。2008年7月現在会員約40名。

13-8 現地の人々との交流

近所や知人宅で命名式や結婚式があると招かれる。招待客は、ご祝儀を包んで行くのが一般的。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

教育制度はフランスにならっており、小学校、中学校、高校と5・4・3年制を敷いている。また、フランスの教科書を用いている科目が多い。

公立、私立校ともに学期は10月から始まり6月に終了する。

(2) 日本人学校

日本人学校はなく、日本人子弟はアメリカンスクールもしくはリセ・ラ・フォンテーヌに通うことになる。

< 家庭学習 >

家庭教師 :

語学、小・中学生各教科の家庭教師を依頼することは可能である。ただし、よい人材を見つけることは容易ではない。フランス・ニジェル文化センターの掲示板に募集広告を出すなどの方法があるが、いったん断った候補者に何回も訪ねられることもある。結局、人づてに探すのが無難なようである。

ピアノなどの先生を見つけるのは困難である。

通信教育 :

日本から教材を取り寄せて行う通信教育がある。海外子女教育振興財団が行

っている海外向けの通信教育では、小学校、中学校の国語、数学、理科、社会などが受けられる。

< 海外子女教育振興財団 >

URL : <http://www.joes.or.jp/>

E-mail : service@joes.or.jp

受付時間 : 9:30 ~ 17:30 (祝日・年末年始を除く月～金)

・東京

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL : 03-4330-1349 FAX : 03-4330-1355

・関西分室

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328



(3) 現地校、外国人学校

以下の2校の連絡先は、Part3イエローページを参照。

< アメリカンスクール >

対象 : 幼稚園から高校まで

使用言語 : 英語

アメリカンスクールへの入学手続きは、所定の入学申込書、健康診断書、それまでの就学記録などの書類を提出し、入学金および年間授業料を支払う。途中編入の場合は、該当学年までの修了証明書も必要となる。

入学金は、3000米ドル。授業料(1年間)は、高校1万4515米ドル、中学校1万2945米ドル、小学校1万2095米ドル、幼稚園(半日保育)3225米ドルである。通学にはスクールバス(年間1840米ドル)がある。

ニジェールの祝祭日およびアメリカの祝祭日は休校となる。

< リセ・ラ・フォンテーヌ >

対象 : 幼稚園から高校まで

使用言語 : フランス語

リセ・ラ・フォンテーヌへの入学手続きは、所定の入学申込書、出生証明書または身分証明書に写真を添え、保険料などとともに1学期分の授業料を支払う。途中編入の場合は、該当学年までの修了証明書も必要となる。

入学金は15万CFAフラン。授業料(1年間あたり)は、高校217万CFAフラン、中学197万CFAフラン、小学校129万CFAフランである。他に教材費と保険料などで年間9万CFAフランを要する。

スクールバスはないので通学は送り迎えが必要。

学期は10～6月までで、3カ月ごとに3学期に分かれる。休校日はニジェールの祝祭日に準ずる。

(4) 保育園・幼稚園

外国人は私立の保育園・幼稚園を利用している人が多い。在留日本人が利用

した実績のある保育園は、下記の2園のみである。詳細はPart3イエローページを参照。

Yellow Page

- ・Petits Pas
- ・American School
- ・Alliance
- ・Nounours

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

最も書籍の充実している図書館はフランス・ニジェール文化センター内のものであり、16mmのライブラリー資料も備えている。館内での閲覧は誰でもできるが、貸し出しは会員のみが対象である。ウマル・ガンダ文化センター内にも図書館があるが、書籍数は多くない。ニアメで一般の人が利用できる図書館はこの2館のみである。なお、両館とも書籍はフランス語である。詳細はPart3イエローページを参照。

Yellow Page

15. 家庭の使用者



15-1 一般事情

職業安定所を通じて、またローカルスタッフや知人から等からの情報で、使用人を探すことは比較的容易である。

ただし、最初から満足できる使用人に出会えるのは幸運な例である。多くの場合、地道に指導する必要がある。

業種は運転手、コック、ボーイ、子守、ガードマンなどに分けられるが、仕事は細分化されていない。たとえばコック、ボーイ、子守の兼業も可能である。

年間30日の有給休暇を与えるほか、社会保険(CNSS)など国で定められた待遇に準ずることが望ましい。また、タバスキなどイスラムの宗教行事の際に特別手当を支給することがある。

一般に彼らは信用でき、家のものがなくなることはほとんどない。ただし、保管は厳重にする必要がある。

近隣国からの出稼ぎ者が多いため、使用人も時に警察官から検問を受けることがある。雇用証明書を作成し、携帯させるとよい。

15-2 運転手

(1) 雇用

雇用は職業安定所を通して、または職場の同僚の紹介などによる。運転技能や人柄については職場の同僚の紹介のほうが安心できる。

ニジェールではフランス語ができなくても運転免許を取得できる。まずある程度フランス語のできることを確認し、履歴書などを提出させるとよい。

後日問題を残さないためにも契約書を作成したほうがよい。文中には試用期間、警告3回で解雇する旨などを明記しておくといよい。

一般に、勤務時間は必要に応じて交渉して決めることが可能である。給与(超過勤務手当を含まない基本給)は1カ月5万～7万CFAフラン程度が相場である。

(2) 日常管理

現地のドライバーはスピードを出しがちであるため、安全運転の指導が大切である。長距離運転の場合は約2時間ごとに休憩をとらせること。

車両が汚れた場合はもちろん、日ごろから定期的に清掃を行うことと、ラジエーターの水、エンジンオイルの確認を習慣づけてもらうといよい。

(3) 教育指導

生活道路で砂埃をたてながら走ったり(スピード運転)、自転車のそばをストレスに走ったりする傾向があるため、歩行者や周囲に注意を払うよう指導することが必要である。また、スピードを緩めずにカーブを切る傾向があり、転倒事故につながることもあるので、必要に応じて注意を与えといよい。

上記のような運転マナーの指導に加え、靴の着用(スリッパ愛用の人が多い)を義務づけることも大切である。

(4) その他の留意点

万が一、事故に遭った場合の対処法もあらかじめ指導しておくといよい。敬虔なイスラム教徒は、日に5回の礼拝を大切にしている。14 :00、16 :00の礼拝が勤務時間中と重なるため、運転手がどのように対応すべきか事前に確認する必要がある。

15-3 家政婦/夫

(1) 仕事の種類と人数

ニジェールでは主に男性が多く、有能な人であれば、1人で料理、給仕、皿洗い、洗濯、掃除を兼ねる場合がある。手のかかる乳幼児がいる家庭には、子守専門の人が必要である。また客を招くことが多い家庭では、専任コックを他の外国人とシェアして雇用することも可能である。

(2) 雇用

雇用は知人の紹介によることが多く、職業安定所や新聞広告による例は少ない。

後日解雇時などに問題を残さないために、必ず契約書を作成するのが好ましい。

休暇は土・日曜日または日曜日のみなど事前に決めておくこと。勤務時間は各家庭の都合に合わせて決めることができる。また、来客などの際は22 :00ごろまで超過勤務を依頼することも可能である。一般的な給与は週3～4日勤務で月2万～5万 CFAフラン程度である(業務の範囲(調理の有無等)による)。

ボーイの場合は口頭の契約でもよい。試用期間を決め、様子を見て昇給してもよい。住み込みの雇用も可能であるが、その場合は使用人部屋の有無など、当初の住居選定に注意を要する。

数軒をかけ持ちしている人であれば隔日勤務も可能である。専属の隔日雇用は難しい。

(3) 日常管理

一般に、衛生観念は日本人とまったく異なると考えるべきである。室内で仕事に従事する使用人には、勤務前にシャワーを使わせ、石鹸による手洗い、皿洗い時の念入りなすすぎ、ふきん、手ふきの使い分けなどを日ごろから指導し、習慣づける必要がある。その他のさまざまなマナーも日本とは異なるため、根気強い指導が必要である。

各人の1日および1週間の仕事をプログラム化しておく、仕事を進めやすく効率がよい。

15-4 庭師、ガードマン

特別な手入れが必要な場合を除き、庭の掃除、水まきなどはガードマンの仕事の領域である。芝刈り、枝払い、庭の改造などは必要に応じて臨時に庭師に依頼する。

ニジェールにおけるガードマンは、むしろ門番の色合いが濃く、給与、労働条件の点からも優遇はされておらず、日曜日も休みのないケースが多い。

雇用は知人からの紹介がほとんどである。人材派遣会社からの派遣も可能。また、空き家の時から家主に雇われて警備をしていた人を、そのまま引き継ぐ場合もある。家主が雇っていたガードマンは比較的信用のおける人物であることが多い。

勤務時間は昼間または夜間の12時間である。24時間警備を必要とする場合は2人雇うことになる。給与は1人当たり月3万～5万 CFAフランである。ちなみにアメリカ人家庭では中近東でのテロ以来、月6万～8万 CFAフランほどで専門的なガードマンを雇用しているようである。

隣近所のガードマンが連帯して盗難防止を図れるよう、笛を持たせるのもよい。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

国立印刷局(ORTN)が発行しているフランス語紙「Le Sahel」(発行部数約2500部、1部150CFAフラン)がニジェール唯一の日刊紙である。6カ月契約(前払い)で定期購読も可能であるが、配達はない。また、同局では日曜版として「Sahel Dimanche」を発行している。

ほかに民間発行の新聞(週刊)として「Haske」「Républicain」「Démocrate」「Anfani」などがあり、路上で販売されている。

(2) 日本の日刊紙



日本の日刊紙はOCSを通じて購読可能であるが、ニジェールには代理店がないので、日本、フランスなどで契約する必要がある。フランスからは5~7日遅れ、日本からは2週間程度の遅れで指定私書箱に届く(詳細はPart3イエローページを参照)。

(3) 欧米紙 / 誌

下記の新聞・週刊誌が空港、ホテル、市中のキオスクで入手できる。定期購読、配達はない。購入可能なものとしては、「Le Monde」、「Figaro」などの新聞の他、「Time」、「Observateur」、「Jeune Afrique l'Intelligent」、「Femme Actuelle」などの雑誌である。

(4) 日本の雑誌、書籍

OCSを通じて購読する以外に入手する方法はない。「(2)日本の日刊紙」参照。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

国営局としてVoix du Sahelがあり、フランス語、ザルマ語、ハウサ語などで放送を行っている。民放局にはAnfani, R & M, Radio TENERE, Radio SOUDAの4局があり、MW、FMともに同内容の番組を放送している。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

NHKワールド・ラジオ日本のアフリカ向け放送を受信できる。周波数は、3月末と10月末に変更するので、周波数表を入手のうえ、確認すること。一般的な短波受信機付きラジオの室内アンテナでも聴取できるが、屋外アンテナを設置すれば受信状態はより良好となる。

詳細は以下に問い合わせる。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間10 :00 ~ 18 :00)

日本国内から : 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター / 平日 / 日本時間
10 :00 ~ 18 :00)

インターネットでの問い合わせ(お問い合わせフォーム):

URL: <https://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/contact/form.html>

<周波数表、番組表の入手>

URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radio/shortwave/index.html>

(3) 聴取可能なその他の外国放送

フランス語、英語による外国放送を多数聴くことができる。特に受信状態のよい放送はVOA、Radio France Internationale (RFI)、Africa No.1、Radio

Moscow, BBCである。周波数は時間帯、季節により異なる。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

国営のニジェール・ラジオ・テレビ公社(ORTN)が運営するTele-Sahel、Tal TVの2局が毎日カラー放送を行っており、朝には前日の再放送を放映している。民放では、Tenere TV、TV Dounia、Canal3の3局がカラー放送を行っている。

なお、国営放送2局の放送時間は次のとおり。

・Tele-Sahel:	月・火	18:00 ~ 23:00 (~ 01:00)
	水	12:30 ~ 23:00 (~ 01:00)
	木・金	18:00 ~ 23:00 (~ 01:00)
	土	10:00 ~ 00:00
	日	10:00 ~ 23:00
・Tal TVI:	月 ~ 木	12:00 ~ 01:00
	金	09:30 ~ 01:00
	土・日	10:00 ~ 01:00

(2) 衛星放送、ケーブルテレビ

フランスの衛星放送(Canal + Horizon、スポーツチャンネルほか約30チャンネル)を視聴することが可能。テレビ以外に受信アンテナ、デコーダーを入手する必要があり、月々の視聴料を支払う。契約期間は1ヶ月単位で選ぶことができ、契約期間が長いほど月あたりの料金単価は安くなる。料金は選択するチャンネル数により異なり、3ヶ月間の契約で約2万FCFAから約6万7000FCFA程度であるが、金額は頻繁に改定されるため確認が必要。問い合わせ・申し込みはTele Star (電話 :20-73-29-67)へ。

また大型パラボラアンテナ(最低でも4m程度)とデジタルチューナーを揃えれば、NHKワールドTVの視聴も可能。問い合わせはTele Ciel Niger (M.Issaka) (B.P.352, Niamay 電話 :20-73-22-84, 93-92-66-06)へ。

NHKワールドのホームページTOP

URL: <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/top/index.html>

(3) テレビ受信

ニジェールはSECAM方式を採用している。ニジェールの放送を受信するには海外向けマルチシステムのテレビ受信機が必要である。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

スポーツ用品は、あまり出回っていないため、趣味のスポーツがある場合は日本から道具を持参したほうがよい。

(1) ゴルフ

Golf Club de Rio Bravo (Sur la route de Boubon、電話 :なし)がある。

コースはほとんどが砂地。練習場もある。ゴルフのあとは川沿いのバーでゆっく

りできる。

(2) テニス、フィットネス

<テニス>

以下のホテルのテニスコートが利用可能である。

Gaweye :1人1時間 4000 CFAフラン

Les Roniers :1人1時間 1500 CFAフラン コーチ代別途3500CFAフラン

Terminus :1人1時間 1000 CFAフラン

アメリカンスクール:施設利用料として1日3000CFAフラン

<プール>

以下のプールが利用可能である。

Gaweye :1人1日2500 CFAフラン。循環濾過器が常に作動しており、水質は最もよい。外国人の利用が多い。

Les Roniers :1人2500 CFAフラン。

Terminus :1人1月1000 0CFAフラン。会員制。

Sahel :1人700 CFAフラン。公式競技用の50mプール。現地の青少年の利用が多い。水質はよくない。

アメリカンスクール:施設利用料として1日3000CFAフラン

<エアロビクス・ジム>

Hôtel Terminus 敷地内にジムがある。ベルギー人女性が週4回エアロビクス教室を開いている。1回1時間2000CFAフラン。同室内にあるジムは、ある程度器具が揃っているが専門のトレーナーはいない。1回1750CFAフラン。

(3) その他のスポーツ

バレーボール、バスケットボール、柔道、空手、ボクシング、サッカー、自転車などの種目別連盟があり、外国人も参加できる。ほかに乗馬、ウインドサーフィンも可能である。

ニアメ市内には、サッカーや陸上競技、バレーボールなどの野外・屋内スポーツ用の大きな運動施設(スタッド=セイニクンチェ)があり、使用料を払って施設を利用する。貸し切りも可能。休日は、競技場内や周囲をジョギングする人も見られる。

大きな中古スポーツ用品の情報はスーパーマーケットなどに掲示されることもある。小物は持参したほうがよい。

<スポーツクラブなど>

・Club Nautique(Gamkalley、電話 :20-73-24-55)

ニジェール川沿いにあり、ボート、ジェットスキーなどができる。

・Club Equestre de Niamey (Boulevard des Ambassades、電話 :20-72-28-30)

乗馬ができる。

<釣り>

ニジェール川沿いで可能である。ただし、ニアメ市内では釣り場が決められている。テラピア、ナマズなどがよく釣れる。

川辺の土を少し掘れば、餌となるミミズはたくさん出てくる。また、ルアーで試みるのも一興である。ただし、現地での釣り用具の調達は困難である。

17-2 趣味

<音楽>

国内外の人気ミュージシャンのコンサートや、友好国文化使節団による公演がときどき催される。フランス・ニジェール文化センター、ウマル・ガンダ文化センターが会場になることが多く、頻度は月に1~2回程度である。クラシックのコンサートはほとんどない。いわゆる楽器店はなく、クラシック楽器の調達は不可能である。

ニジェール人ミュージシャンから現地の楽器を習うことは可能。

<絵画、美術工芸>

画材専門店はない。油絵などの用具は文具店を通じて取り寄せることになる。

国立博物館内の美術工芸アトリエは優れた技術を持っている。

<映画>

フランス・ニジェール文化センターで、月に数本、主にフランス語版映画が上映されている。上映は20 :30から。料金が下記一般映画館より高めであることもあり、外国人利用者が多い。

ニアメ市内には常設映画館が数軒あるが、外国人の利用はあまり一般的でない。上映作品は中国、インド、フランス、アメリカ製のアクションものが多く、時には話題作も上映される。通常は1本立てであるが、週末は2本立てになるところもある。

一般的な料金は屋外席で250~500 CFAフラン、屋内席は500~1000 CFAフランである。開館は夕方以降である。

<手芸>

手芸用品は、Grand Marché内とその付近の生地店で入手可能である。フランス製の手芸用品は「Tout pour la Famille (女性と子供の専門店)」(Petit Marché横) (「4-3(1)食器、調理器具などの入手」参照)でも入手可能である。

<園芸>

高温のため、キャベツ、白菜、レタスなどの栽培は難しい。その他の野菜類は播種時期を選び、水管理をすれば家庭で栽培が楽しめる。種苗はスーパーマーケットなどでも購入可能であるが、種専門店もある。

マンゴー、バナナ、パパイア、かんきつ類などの果樹を植えるのも楽しい。バラや観葉植物もあり、これらの苗木はニジェール川沿いの植木店で購入できる。

<ゲーム>

スロットマシン、テレビゲームを中心とした遊戯施設はいくつかあるが、設置機

種は多くない。ビリヤード台を備えたバーがある。

日本人には将棋、マージャンを楽しむ人もいる。道具は持参したほうがよい。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

Yellow Page アメリカ文化センター(詳細はPart3イエローページを参照)にて英語、フランスニジェール文化センター(CCFN)にてフランス語及び現地語の語学講習の受講が可能である。その他各援助機関のスタッフ養成研修所はあるものの、一般の参加は困難である。

(2) 家庭教師

知人の紹介、またはアメリカ文化センター、フランス・ニジェール文化センター、スーパーマーケット、外国人が頻繁に出入りする商店などの掲示板に募集広告を出す方法がある。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

交通手段としては旧国営バス(SNTV)またはレンタカー、自家用車などを利用することになる。ニアメを出る際に検問があるので、車両証明書などが必要である。

目的地までに未舗装の道路がある場合は、乗用車での旅行は避けたほうがよい。特に雨季は危険を伴う。

サハラ砂漠への旅行は魅力的であるが、砂漠の気温は0度近くになることも多く、周到な準備が必要である。また、天候の不順な5～9月は特に危険であり、旅行社でもこの間は砂漠ツアーを行わない。個人的にガイドを頼んで行く場合でも車両2台以上が必須であり、1台での単独走行は許可されない。

なお、アガデス州ではトゥアレグ族の反政府活動が頻発しているため、ニジェール事務所では、JICA関係者に対しては砂漠ツアーの名所であるアガデス州への旅行は現在禁止している。

< 交通手段 >

自動車 :

ガソリンスタンドは各県庁所在地のみにしか存在しないため、給油は計画的に行う必要がある。なおナイジェリアとの国境地帯では、闇でガソリン・軽油の販売を行っている(国道沿いに大きな漏斗を目印としてぶら下げている)。正規販売に比べて安価だが、不純物が混入しているともいわれ、やむをえない場合を除き、これらは避けるべきである。

1995年から、国道では税金を徴収するようになった。出発地の都市を出る通関で、行き先に応じてチケットを購入する。途中通過する都市の通関ではこのチケットを見せなくてはならない。

バス :

旧国営バス会社SNTVが全国主要都市を結んで運行している。行き先によって出発の曜日が違うので注意が必要。また完全予約制で、事前にチケットの購入が必要。

鉄道 :

鉄道はない。

航空機 :

飛行機は国内定期便はなく、Nigeravia(電話:20-73-30-64)というチャーター便航空会社が就航するのみである。

その他 :

タクシー・ド・ブルースといわれる、ワゴン車の乗り合いタクシーが全国各地を運行している。しかし、定員以上の客を乗せ、必要最低限の乗客が集まるまで出発せず、さらに整備不良車が多いなど、あまり勧められない。

18-2 主要観光地・保養地

<タポア・パークW=国立W(ダブルベア)野生動物公園>

ニジェール、ブルキナファソ、ベナンの3国にまたがる国立公園で、ユネスコの世界遺産に登録されている。ニジェール側の入口はタポアである。園内は車両入場以外許可されないのので、レンタカー、自家用車で行く必要がある。6~10月は閉鎖される。動物の数はケニア、タンザニアの動物公園に比べると非常に少ない。

宿泊施設として、4つ星相当のホテルが同公園の開園期間に合わせて営業している。予約はニアメのHôtel Gaweye(電話:20-72-34-00)を通じて行う。

<その他の観光地>

- ・アヨロ.....野生カバ、舟下り、付近の集落見学。
- ・ブボン.....中洲キャンプ場(ニジェール川)
- ・カレゴロ.....カレゴロ砂丘
- ・クーレ.....野生キリン(国道沿い)

いずれも交通手段はレンタカー、自家用車などである。

18-3 旅行代理店



詳細はPart3イエローページを参照。

19. 私財の輸送 引き取り、 購入

19-1 家財道具

(1) 輸送業者



代表的な引越し業者は以下の2社(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・AGS Niger
- ・Groupage Niger

(2) 輸入手続き

必要書類はB/L(船荷証券)、インボイス、パッキングリストである。

(3) 輸入貨物の受け取り港

該当情報なし。

19-2 自動車

(1) 一般状況

最も近い港でもニジェールから1000km以上離れており、さらに他国を通るため(通行税が生じる)、車両の輸入は困難である。ニジェールでもブジョー、メルセデス、トヨタ、日産などの車両が購入可能であり、経費面から見て現地での購入が賢明かと思われる。

中古車は、欧米人が新車で購入したものが口コミなどで販売されているほか、隣国ベナンからも輸入されている。

(2) 輸入手続き

B/L、インボイスを添付の上、免税手続きを行い、車両登録をしてナンバーを取得する。個人で所有する車両には付加価値税が17～25%課される。

(3) 現地での購入

新車を購入する場合は、CFAOなどの正規代理店で購入すれば基本的に必要な手続はすべて任せることができる。

スーパーマーケットなどに個人で販売する中古車両の広告が出ている。連絡先が記されているので、興味があれば直接コンタクトをとり、値段交渉する。販売する側が売却証明書を取得し、その後車両証明書の名義変更を運輸省で行う。必要な用紙、その他情報は運輸省で入手可能。

(4) 自動車登録

所有者の住所、氏名、車両番号および積載量などを登録し、車両証(carte grise)を受け取る。この際 2万5000 CFAフランの印紙が必要である。その他毎年重量税を支払い、その際に受け取る納税済証紙(vignette)を車両証とともに車両に保管する。金額は排気量によって違うが、「ランドクルーザー」で年間3万5000 CFAフラン程度。

(5) 免許証取得

運転免許の分類は国際免許と同様であり、50cc以下のバイクは免許の必要がない。国際免許証の有効期間は1年なので、1年以上の長期滞在者は日本の免許証を持参しニジェールの免許証に切り替えることになる。日本の免許証にその翻訳を付し、運輸省に申請する。ニジェールの免許は無期限に有効であり、更新の必要はない。ニジェール滞在中、日本の免許証は運輸省で保管され、帰国時に免許交換を行う。

自家用車の車検制度はない。

(6) 保険

ニジェール国内では保険加入が義務づけられており、検問の際は身分証明書、運転免許証、車検証 (carte grise) と同時に保険証の提出を求められる。

保険会社は数社あり、通常1年契約である。掛け金は補償内容や車種にもよるが、一般的なもので年間80万～130万 CFAフランである。また、過去に事故を起こしている場合は高くなる。

Yellow Page 保険会社は次のとおりである。

- ・Ugan
- ・Caren

20. 地方都市



< アガデス州 (Région d'AGADEZ) >

ニアメからの距離 (州都まで) : 937km

日本人 : 居住者なし

備考 : 砂漠ツアーの観光名所であるが、トゥアレグ族の反政府活動により、治安が悪化。現在はJICAの渡航禁止地域となっている。

< ディファ州 (Région de DIFFA) >

ニアメからの距離 (州都まで) : 1359km

日本人 : 居住者なし

備考 : 極東部に位置し、チャドと国境を接している。武装集団による襲撃遭遇の懸念から、現在はJICAの渡航禁止区域となっている。

< ドッソ州 (Région de DOSSO) >

ニアメからの距離 (州都まで) : 136km

日本人 : JICA専門家、協力隊員 (フィールド調整員含む)

備考 : 州南部の町ガヤを通じてベナンに至る。

< マラディ州 (Région de MARADI) >

ニアメからの距離 (州都まで) : 657km

日本人 : 協力隊員 (フィールド調整員含む)、日本人医師1人

備考 : ナイジェリアと国境を接し、イスラム色が濃い。ナイジェリア北部との間で、人や物資が頻繁に行き来している。

< タウア州 (Région de TAHOUA) >

ニアメからの距離 (州都まで) : 548km

日本人 : JICA専門家、協力隊員

備考 : マリと国境を接し、遊牧民の移動が多く見られる。また南部はナイジェリアとも国境を接しており、国境沿いの町では物資が豊富。

< ティラベリ州 (Région de TILLABERI) >

ニアメからの距離 (州都まで) : 114km

日本人 : 協力隊員

備考 : マリ、ブルキナファソと国境を接し、ニジェール川が横切っている。

< ザンデル州 (Région de ZINDER) >

ニアメからの距離(州都まで) : 891km

日本人 : 協力隊員

備考 : かつて首都が置かれていた。ナイジェリアと国境を接し、イスラム色が濃い。

Part 3 イエローページ

特に記載のない限り、JICA事務所のあるニアメの情報か中心になっています

1. JICA ニジェール事務所

所在地 No.521 Rue des Lacs, PL521, Quartier Plateau, Commune1 Niamey, Niger
 TEL&FAX TEL: +227-20-73-55-69, 73-29-94 FAX: +227-20-73-29-85
 URL/E-mail URL: <http://jica.go.jp/niger/index.html> E-mail: jni_oso_rep@jica.go.jp

2. 日本大使館

所在地 Alpha 2000 Tour A1, Avenue Chardy, Abidjan, Cote D'Ivoire (01 B.P.1329, Abidjan 01)
 (在コートジボワール日本大使館 / ニジェール兼轄)
 TEL&FAX TEL: +225 (コートジボワール国番号) -20-21-28-63, 20-21-30-43

3. 緊急連絡先電話番号

・日本大使館 TEL: +225 (コートジボワール国番号) -20-21-28-63, 20-21-30-43 (在コートジボワール日本大使館)
 ・警察 TEL: 17
 ・消防 救急車 TEL: 18

4. ホテル

< 4 つ星ホテル >

Hôtel Gaweve (200 室)

114 Place Kennedy (B.P.11008, Niamey)
 TEL: 20-72-34-00/01 FAX: 20-72-33-47
 E-mail: gaweve@intnet.ne
 7 万 5000CFA フラン
 Diners Club, American Express

Grand Hôtel (70 室)

B.P.471, Niamey
 TEL: 20-73-26-41 FAX: 20-73-26-43
 E-mail: grandhotelniger@yahoo.fr
 4 万 9,500 CFA フラン
 Diners Club, American Express

Hôtel Ténéré (52 室)

1952 Rue de Liberté (B.P.10734, Niamey)
 TEL: 20-73-30-55 FAX: 20-73-30-45
 E-mail: hotenere@intnet.ne
 3 万 5,000CFA フラン
 クレジットカード使用不可

< 3 つ星ホテル >

Hôtel Sahel (34 室)

118 Rue du Sahel (B.P.627, Niamey)
 TEL: 20-73-24-31 FAX: 20-73-20-98
 2 万 5,500CFA フラン
 クレジットカード使用不可

Hôtel Terminus (38 室)

229 Rue du Sahel (B.P.882, Niamey)
 TEL: 20-73-26-92 FAX: 20-73-39-74
 E-mail: hotermi@intnet.ne
 3 万 1,950CFA フラン
 クレジットカード使用不可

Homeland Hotel (31 室)

Plateau rue PL13 Avenue GL de Gaule BP410, Niamey
 TEL: 20-73-26-06, 20-72-32-82 FAX: 20-72-29-67
 E-mail: h_homeland@yahoo.fr
 3 万 500CFA フラン
 クレジットカード使用不可

Hôtel les Roniers (19 バンガロー)

Route de Tondibiya (B.P.795, Niamey)
 TEL: 20-72-31-38 FAX: 20-72-31-33
 E-mail: horonier@intnet.ne

2万4,500CFA フラン
American Express

5 不動産会社

Agence Immobilière Hassane Ide

B.P.10254, Niamey
TEL: 20-73-37-76 FAX: なし

Agence Immobilière Rabe Mamane

B.P.11262, Niamey
TEL: 20-73-22-79 FAX: なし

6 美容院

Christin Coiffure

Hôtel Gaweve 内
TEL: 20-72-34-00 (Hôtel Gaweve レセプション)
9:00 ~ 19:30
男性カット 8000 CFA フラン、女性カット 7500 CFA フラン、パーマ 2万3000 CFA フラン

Salon de Coiffure El Nasr

Immeuble El Nasr 内
TEL: 20-97-44-97
8:30 ~ 12:30, 16:00 ~ 20:00 (日曜休業)
モロッコ人経営の理髪店、在留日本人男性で利用している人が多い。出張カットも依頼できる。男性カット 4000 CFA フラン、女性カット 5000 CFA フラン、子供カット 2000 CFA フラン。

7 レストラン

< 中国料理 >

Dragon d'Or (金龍)

57 Rue Renn Lubke (B.P.2456, Niamey)
TEL: 20-73-41-23
レセプションなど多人数での利用も可能で、その場合は予約が必要。Grand Hotel 付近。

Chez Chin

1585 Boulevard de l'Indépendance (B.P.13273, Niamey)
TEL: 20-72-25-28
メニューも充実しており、在留日本人の間では一番人気のある中国料理店。JICA 事務所付近。

Changhai (上海)

Boulevard Mali Béro
TEL: 20-75-38-29
Dragon d'Or と経営者は同じだが、メニューと味は多少違う。カラオケ付きの個室での食事も可能。

< フランス料理 >

Tabakady

152 Avenue du Président Kari Carsten (B.P.11129, Niamey)
TEL: 20-73-58-18
ニジェールでは一番高級なフランス料理店。予約をすれば、ニジェール北部砂漠地方のスライドを上映してくれる。食事だけでも予約をしたほうが無難。

Diamangou

Gamkallev
TEL: 20-73-51-43
ニジェール川沿いにあるレストラン。川の水が豊富な時は、クルージングが楽しめる。

Les Roniers

Route de Tondibiya (B.P.795, Niamey)
TEL: 20-72-31-38
ホテルと併設されているレストラン。ニアメの中心部からは離れているが、欧米人が多く利用している。

Vivanda

Rue du plateau
TEL: 20-72-62-62
2007 年にオープン。山小屋風の内装で、選択肢は少ないがコースメニューもある。シェフがフランス人。

< レバノン料理 >

Byblos

1565 Boulevard l'Indépendance

	TEL:20-72-44-05 ちょっと雰囲気を変えた食事がしたい時に。
La Cascade	B.P.10627, Niamey TEL:20-73-28-32 ピザやパスタ等レバノン料理でないものも食べられる。レバノン風の前菜のセットもある。
Le Gourmet	Rue des oasis TEL:94-84-84-84 一軒家の庭に建てられているレストランで、昼間は明るくて気持ちが良い。サンドイッチやハンバーガーもある。
< マグレブ料理 >	
La Casbah	所在地: 26 Plateau 3 (B.P.12666, Niamey) TEL:20-75-26-02 落ち着いた雰囲気、クスクスやタジンなどの料理が楽しめる。予約をすると、美しいテーブルセッティングをしてくれる。
< ピザ >	
La Pizzéria	111 Rue du Commerce TEL:20-72-24-86 窯で焼いた本格的なクリスピーピザが食べられる。デザートも種類が豊富でボリューム満点。
< イタリア料理 >	
Le Pilier	Rue des Tapoa (B.P.946, Niamey) TEL:20-72-49-85 パスタの種類も豊富で、本格的なイタリア料理が楽しめる。人気のあるレストランなので、大人数の時は予約が必要。
< 西アフリカ料理 >	
Maquis 2000	Place du Temple BP10937 TEL:20-73-55-56 コートジボワールのアチャケやパットが食べられる。安くおいしく、満足できる。
Flamant Rose	Avenue des Zamakove TEL:20-75-37-11 安くボリューム満点のトーゴ料理が食べられる。
Watta	Quartier Terminus TEL:20-73-24-63 コートジボワール料理。こざっぱりした店内で、様々なソースの料理が楽しめる。アグチ(ねずみ)もある。
8 食料品、生活用品の購入	
< 大型スーパーマーケット >	
HADDAD (元'Score')	Place du Pt. Marché TEL:20-73-30-40 8:30~12:15, 16:15~21:00 食品、酒類、調理器具、文房具、生活雑貨などを扱っている。ハムなどの加工肉類、チーズ類、輸入野菜・果物などの品数が豊富。
HADDAD	Rue de Kalleye TEL:20-73-39-58 8:00~12:30, 15:30~19:30 HADDAD (元'Score')と取扱品はほとんど変わらないが、酒類は比較的种类が豊富。
MARINA MARKET	Avenue de l'amitié, ancien magasin bureau Niger TEL:20-33-03-90 8:00~13:00, 15:30~21:00 食品、酒類、調理器具、生活雑貨などを扱っている。ハムなどの加工肉類、チーズ類、輸入野菜、果物も品数は少ないが扱っている。
< 日用品店 >	
Tout pour la Famille	Place du Pt. Marché

TEL:20-73-49-69

8:00 ~ 13:00, 15:30 ~ 21:00(日曜休業)

食器、調理器具、日用雑貨、子供服、婦人用品、玩具、装飾品など、さまざまなものを扱っている。現地では高級デパート。

<文房具>

Europa Sarl Rue du Ténéré (B.P.10651, Niamey)

TEL:20-73-21-37

文房具・事務用品専門店。ファックスやコピー機などの修理もしてくれる。

9 金融機関

SONIBANK (Societe Nigerienne de Banque)

B.P.891-Niamey

TEL:20-73-52-24 FAX:20-73-46-93

E-mail:sonibana@intnet.ne

月～金 8:00～11:30, 16:00～17:00

BIA (Banque Internationale pour l'Afrique)

Avenue de la Mairie (B.P.10350-Niamey)

TEL:20-73-31-01 FAX:20-73-35-95

E-mail:bia@intnet.ne

月～金 8:00～11:30, 16:00～17:00

ECOBANK Boulevard de la Liberté (B.P.13804-Niamey)

TEL:20-73-71-81 FAX:20-73-72-03

E-mail:ecobank@intnet.ne

月～金 8:30～17:00, 土曜 9:00～13:00

10 レンタカー会社

Nigercar (Hertz 系)

Route de Gamkalley Niamey (B.P.715-Niamey)

TEL:20-73-23-31

E-mail:nicavoy@intnet.ne

料金(燃料費・税別):「ブジョー 504」「トヨタ・カリーナ」基本料金 2万 250CFA フラン / 日、距離料金 185 CFA フラン / km 「トヨタ・クラウン」「トヨタ・ランドクルーザー」基本料金 2万 6100CFA フラン / 日、距離料金 200 CFA フラン / km 運転手付きの場合は上記に 1 日あたり 4000 CFA フラン加算、冷房車は 1 日あたり 2700 CFA フラン加算。

車両のみ借り入れる際は、免許取得後 1 年以上経過しており、かつ 23 歳以上であることが条件。ただし、市外へ出る場合は車両の返却率が低下するという理由により、車両のみのレンタルは行っていない。

TENERE VOYAGE

TEL:20-73-47-10, 20-73-47-55

AST VOYAGE

TEL:96-97-67-33, 94-84-05-05

11 救急病院

ニアメ国立中央病院

B.P.238, Niamey

TEL:20-72-22-53

E-mail:honani@intnet.ne

クリニック・ド・ガンカレー (Clinique de Gamkalley)

B.P.324, Niamey

TEL:20-73-20-33

12 インターネット・プロバイダー

SONITEL

TEL:20-72-29-98, 72-27-44 FAX:20-74-24-78

URL:http://www.intnet.ne E-mail:sonitel@intnet.ne

AFRIPA

TEL:20-73-85-01 / 03

13 国際宅配会社

DHL (ニアメ本部)

27, Boulevard de la Liberté (B.P.10926, Niamey)

TEL:20-73-33-59, 20-73-80-38, 20-73-68-46 FAX:20-73-81-06

URL:http://www.africa.dhl.com E-mail:suivi@dhl.com

7:30～12:30、15:30～18:30

日本までの料金(目安):6万1700CFAフラン/1kg

14 コンピューター販売会社

Gamma Informatique

33, Rue du Souvenir (B.P.10611, Niamey)

TEL:20-73-24-43、20-73-74-92、20-72-20-15 FAX:20-73-28-76

E-mail:gamniq@intnet.ne

15 輸送会社

<アナカン運送会社>

NITRA B.P.560, Niamey

TEL:20-76-63-15

SDV B.P.11622, Niamey

TEL:21-76-47-23(Fret Aerien)

<引っ越し会社>

AGS Niger Route de l'Aéroport (B.P.13612, Niamey)

TEL:20-74-28-80 FAX:20-74-19-40

E-mail:agsniger@intnet.ne

8:30～12:00、15:00～18:00

フランスを拠点とし、世界各地に代理店を持っている。自宅を訪問し、輸送物品を確認して見積りを行う。梱包作業もすべて行ってくれる。日本国内の輸送業者とも提携している。

Groupage Niger

B.P.12963, Niamey

TEL:20-74-09-65 FAX:20-74-34-29

E-mail:catniger@intnet.ne

8:30～12:00、15:00～18:00

フランスの輸送業者と提携している。

16 教育機関

<外国人学校>

アメリカンスクール

Boulevard des Ambassades(アメリカ大使館横)

TEL:20-72-39-42 E-mail:asniger@intnet.ne

対象:幼稚園から高校まで

使用言語:英語

リセ・ラ・フォンテーヌ

Avenue du Fleuve Niger

TEL:20-72-21-63 E-mail:secretariat.eleves@fontaine.ne

対象:幼稚園から高校まで

使用言語:フランス語

<保育園・幼稚園>

Petits Pas Avenue de Niamey Plateau 2

対象年齢:18カ月～4歳

使用言語:フランス語

入学金5万CFAフラン、月謝5万CFAフラン。正午までの半日保育。

Alliance Tel:20-72-22-82(Maternelle), 21-76-44-22(Primaire)

対象年齢:2歳～6歳(保育園)、7歳～12歳(小学校)

使用言語:フランス語

入学金 入学金 6万フラン、授業料年間600,000CFAの他文具代5万(幼稚園)

Nounours Avenue de

対象年齢:12カ月～4歳

使用言語:フランス語

入学金5万7000CFAフラン、年間10万CFAフラン。8時から15時、延長保育17時まで。

<図書館>

フランス・ニジェール文化センター

Rue du Musée(B.P.889, Niamey)

TEL:20-73-48-34

9:00～12:00、15:30～18:30(月・火午前と日曜午後は休館)

ウマル・ガンダ文化センター
Boulevard Mali Béro
TEL: 20-74-09-03
8:30 ~ 12:00, 16:00 ~ 18:30

17 日本の新聞 出版物の購読

海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス
〒108-8701 東京都港区芝浦2-9-13
TEL: 03-5476-8131 FAX: 03-3453-8091
URL: http://www.ocs.co.jp/ E-mail: subs@ocs.co.jp
OCS Paris Head Office
12 rue Louis Blanc BP 95 93402 St Ouen Cedex
TEL: +33(フランス国番号)-1-4945-8100
E-mail: Cmaymil@ocsfrance.fr

18 語学学習施設

アメリカ文化センター
Plateau (B.P.11201, Niamey)
TEL: 20-73-31-69
週2回で4万 CFAフラン / 1学期(3カ月)

19 旅行代理店

Niqercar	Route de Gamkalley Niamey (B.P.715, Niamey)
	TEL: 20-73-23-31 FAX: なし
	E-mail: nicavoy@intnet.ne
	8:30 ~ 12:00, 15:00 ~ 18:00
	レンタカー会社であるが、各種要望に応じて国内旅行を企画してくれる。
Satquru	Immeuble Hôtel Maoureux (B.P.11114, Niamey)
	TEL: 20-73-69-31 FAX: 20-73-69-34
	E-mail: stts-nim@intnet.ne
	(平日) 9:00 ~ 14:00, 15:30 ~ 21:00 (土曜) 9:00 ~ 14:00, 18:00 ~ 20:00, (日曜) 12:00 ~ 16:00
	航空券の予約販売、各航空会社の予約再確認、国内旅行のアレンジを行う。

20 自動車代理店

CFAO Niger	Route de l'Aéroport (B.P.204, Niamey)
	TEL: 20-74-01-58 FAX: 20-74-03-41
	E-mail: cfaonr@intnet.ne
	取り扱いメーカー: トヨタ、スズキ、ヤマハ(バイク)、プジョー、ルノー
SNAC	Rond-Point des Armées (B.P.10501, Niamey)
	TEL: 20-74-02-39 FAX: 20-74-02-14
	取り扱いメーカー: 三菱
Amar-Taleb	B.P.11739, Niamey
	TEL: 20-74-16-40 FAX: 20-74-25-72
	E-mail: amar@intnet.ne
	取り扱いメーカー: 日産

21 保険会社

Ugan	Rue de Kalley (B.P.11935, Niamey)
	TEL: 20-73-54-06 FAX: 20-73-41-85
	E-mail: ugan@intnet.ne
Caren	Immeuble El Nars (B.P.733, Niamey)
	TEL: 20-73-34-70 FAX: 20-73-24-93
	E-mail: caren@intnet.ne